

第二十一回帝國議會 院 鑛業法案委員會會議錄(速記)第五回

會議

明治三十七年十二月二十三日午後一時三十五分開議

出席委員左ノ如シ

波多野傳三郎君	神前 修三君	井上 與一郎君
松本孫右衛門君	堀田 連太郎君	鹿島 秀臂君
荒谷 桂吉君	平岡 浩太郎君	金子 元三郎君
横山 一平君	大野 龜三郎君	青柳 信五郎君
是永 歲太郎君	伊藤傳右衛門君	藤 金作君
阪本 金彌君		

出席國務大臣左ノ如シ

農商務大臣 男爵清浦 奎吾君

出席政府委員左ノ如シ

農商務省鑛山局長 田中 隆三君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

鑛業法案

○委員長堀田連太郎君 ソレハ昨日ニ引續キマシテ會ヲ開キマス、昨日ハ第九條マデ濟ミシタカラ、今日ハ第十條カラ始メマス

○平岡浩太郎君 此十條ハ前カラアツタノトニ違フテ居リマス

○政府委員田中隆三君 是ハ前ノト略々同ジデアリマス、現行ノ法律ニハ城堡ヨリ周圍三百間ト書イテアリマスガ、城堡ト云フ言葉ガ取レマシテ、要塞地帯ト云フコトガ其代リニ這入ッテ、ソレカラ一項ノ中ニ、元ト城堡モ要塞地帯モアリマセナシタガ、ソレハ要塞地帯ノ第一區ハ出來ナイ場所デスカラ、一項ニ入レテ吳レト云フ海陸軍ノ當局者カラノ交渉ガアリマシテ、入レマシタ、大鉢ニ於テ前ト變リハアリマセヌ

○荒谷桂吉君 第二項ニ所管官廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ鑛區ト爲スコトヲ得ストアリマスガ、總テ鑛區ト爲スニハ、監督署ト農商務大臣トガ許可スルノニ、又陸海軍ノ許可ヲ得ナケレバナラヌトスル、其手續ハドウスルノデスカ

○政府委員田中隆三君 是ハ唯鑛區ハ鑛區トシテ、農商務大臣ニ出願スルノデアアルガ、尙斯ウ云フ危險ナ、或ハ軍事上關係アル場合デ、鑛區トシテ鑛業スル場合ニハ、尙又差支ガアルカナイカト云フコトヲ、ソレ等當局者カラ許可ヲ受ケルノデ、差支ナイトコロナレバ、鑛區ニシテ宜シイ、絶對的ニ拒ム譯デハナイト云フ意味デアリマス

○荒谷桂吉君 許可ヲ受クル手續デス、許可人ガ農商務大臣ト陸海軍大臣ト二人デ書面ヲ出スノデスカ

○政府委員田中隆三君 農商務省ニ出スニハ、此鑛業法及細則ニ依ッテ極々タル、普通ノ願書ヲ出スノデアリマス、陸海軍ヘ出ス方ハ、唯何處其處ノ場所デ出願シタイカラ、或ハシタカラ、許可シテ吳レト云フデケデ、宜シイノデス、簡單ナル願書デス、形式ハ

アリマセヌ、極ク手輕ナモノニナッテ居リマス

○荒谷桂吉君 是ハ農商務大臣ニ出願スル、農商務大臣ニ出願スルト、農商務省カラ陸海軍ニ御協議ニナッテ、本人ニ手數ヲ掛ケナイトシテハ、如何デスカ、サウデナイト農商務省ノ許可ヲ得タガ、陸海軍カラ許可ヲ得ラレナイト、實際働ケナイヤウニナリマスガ

○政府委員田中隆三君 是ハ出願人ノ便利ノタメニシタノデス、農商務省ニ願ッテ後トデ許可ニナラヌト、願人ガ却ッテ迷惑ヲ致シマス、些細ノコトデスカ、今日ナラバ登録稅ガ無駄ニナルヤウナ虞ガアリマスノデ、斯ウ云フ規定ヲ置イテ、豫メ許可ヲ得ル途ヲ開イタガ、鑛業人ノ便利デアラ、陸海軍ガ苦情云ヒサウナ所ハ、鑛業人ハ願ハナイカラ此方ガ便利デアリマス、又現行法ノ二十四條モ斯ウナッテ居リマスカラ、御心配ノコトハアルマイト思ヒマス

○委員長堀田連太郎君 今ノ荒谷君ノ御尋ネハ御尤ト思フ、是ハ初メ聞イテ置カナケレバナラヌト思フノハ、探掘試掘ノ權利ノ取得ニ付イテ、關係ガアルト思フ、申サバトテモ許スマイト思フ、曩ニ陸海軍ニ願書ヲ出シテ、開合ハセテ居ルト、既ニ一方デハ之ヲ許スベキモノト心得ルモノガアッテ、農商務省ニ願書ヲ出ス、スルト其者ノ方ガ先ニ權利ヲ得ルコトニナル、チヨットシタコトデアルガ、農商務省ト所轄官廳トノ間ニ、ドウ云フ場合ニハ、ドウ云フ處分ヲスルト云フ規定ガナケレバナルマイト思フ、是等ハ疑義ノアル點ト思ヒマス

○政府委員田中隆三君 御尋ネノ如ク、交渉ニ手間ヲ取ッテ居ル間ニ、他人ニ願ハレト云フヤウナ場合ハ、ナイデモナイノデアリマスカラ、是ハ許可ヲ受ケテカラデナケレバ願ハレヌト云フノデハナクシテ、許可書ト云フモノハ、後トデ出シテモ宜シイノデス、現在モ左様致シテ居リマスガ、尙其邊ニ付イテ御心配モゴザイマスナラバ、細則等ニ於テ、其事ヲハッキリ書イデモ、差支ナイコトデス

○委員長堀田連太郎君 斯ウ云フ意味ニトッテ宜シイデスカ、農商務省ニ願書ヲ出スト同時ニ、所轄官廳ニ許可シテ貰ヒタイト云フコトノ願書ヲ出シテモ宜シイノデスナ、權利ヲ確實ニスルニハ……

○政府委員田中隆三君 左様デス

○委員長堀田連太郎君 御異議ガ無ケレバ第十一條ニ移リマス

○藤金作君 此第十一條ノ鐵道、軌道、道路、運河ト云フ中ニハ、ドノ位マデ道路ト云フノカ、國縣道路、或ハ里道若クハ其他ノ耕作ノ道路マデモ云フタノデアルカ、ドノ位ノ範圍マデ、アリマスカ

○政府委員田中隆三君 是ハ詰リ公ノ道路ニナッテ居リマスモノダケヲ云フノデアリマシテ、或ハ事實ハ道路デアッテモ、島ノ畝道デアルトカ、公ノ道路ト目セラレテ居ラナイモノハ、這入ラヌ積リデス

○藤金作君 今ノ御答辯デハ先ヅ地租ヲ免ジテアル一般ノ道路ハ、大小ヲ論ゼズ、公

租ヲ免シテ、交通シテ居ル一般ノ道路ト云フ解釋デゴザイマス

○政府委員田中隆三君 左様

○藤金作君 尙御尋ネシマスガ此河湖、沼地、堤塘ト云フモノガアルガ、茲ニ井堰ト云フモノハナイガ、ドウ云フ譯デスカ……用水運河等ノタメニ堰ヲ築イテ、水ヲ溜メテ置ク、處ニ依リテ堰塘トモ申シテ居リマス

○政府委員田中隆三君 水ノ流レテ居ルヤウナ水路デゴザイマスナラバ、運河トカ河湖トカ云フ中ニ這入ラウト思ヒマス、又何カ堰ヲ築イテアル場所ト云フヤウナモノデゴザイマスナラバ、堤塘トカ云フモノニ含マレルデアラウト思フ、事實上此ノ法文中ニ這入ルベキモノデハナカラウト思ヒマス

○平岡浩太郎君 營造物ト云フ中ニ這入ラウト居リハシマセヌカ

○藤金作君 今平岡君ノ御説ノ如ク、營業物ト云フ中ニ含蓄シテアルモノト見テ宜シウゴザイマス、或ハサウデモナイト云フコトニナラテ居リマス

○政府委員田中隆三君 營造物ト申シマスモノハ、是ハ府縣制或ハ町村制等ニゴザイマスニコロノ、重モニ公共團體ノ建物、其他建設物ノコトヲ申スノデゴザイマシテ、或ハ市町村等ニ於テ築造シテアリマスニコロノ、今ノ井堰等デゴザイマスナラバ、無論營造物ニ這入ルデアリマセウ、併シ公ケテ離レテノ井堰ト云フヤウナモノハ、先刻御話シタヤウニ、却テ河湖トカ堤塘トカ云フモノ、一部分ヲ爲スモノナリハシナイカト思ハレマス、實地ハ了解シマセヌカ、ハキトドレト云フコトハ申上兼マスガ、尙念ノタメニ申上テ置キマスガ、是ハ寧ろ鑛業上差支アリトシテ、許可ヲシナイコトノアル場合ノ、重モナルモノヲ舉ゲタノデス、假令此中ニハキリ筋マラヌモノガゴザイマシテモ、ソレハ或ハ地表或ハ水利、其他ニ妨害ノアル部分ト見レバ、鑛業警察ニ關スル取締、或ハ公益ニ害アル場合ニ鑛業ヲ許サヌト云フ規定モゴザイマスモノデ、事實上損害或ハ危害ヲ惹起スヤウナ場合ハ、鑛區ノ中カラ除ケル、或ハ鑛業ハ許サヌト云フコトハ鑛業法ノ上ニ差支ナイノデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○藤金作君 今政府委員ノ御説明ノ如ク、私モ考ヘマスシ、河湖ノ部分ニ經營シタモノデゴザイマスカラ、河湖ト云フ中ニ井堰ノ如キハ含有サルベキモノト信ジテ、間違ガナケレバ異議ハゴザイマセヌ、ソレハ丁度水利上關係モアルカラ、特ニ質問ヲシテ、原案ノ趣意ヲ御尋ネシテ置クデアリマス

○政府委員田中隆三君 河湖ノ一部分ト御認メニナル解釋ハ、寧ろ適當ト認メテ居ル次第デアリマス

○荒谷桂吉君 「鑛業ヲナシ又ハ鑛業ノ爲之ヲ使用スルコトヲ得ス」トアル、此鑛業ヲ爲スト云フノハ、鑛區ヲ設定スル場合ニモスルノデゴザイマス

○政府委員田中隆三君 鑛業ヲ爲スト云フノハ、實際ノ仕事ヲ爲スノデ、試掘採掘ヲスルノデ、單ニ鑛區ヲ設定スルモノハ這入リマセヌ

○委員長堀田連太郎君 他ニ質問モナイヤウデゴザイマスガ、政府委員ニ是デケノコトヲ、序ニ説明ヲ受ケテ置イタラ宜カラウト思フノハ、現行ノ鑛業條例ノ第二十五條ニ

「鐵道馬車鐵道公道河湖堤防沼地」トアル、ソレガ今度ハ鐵道、軌道、道路、運河、河湖、沼地トナルノデ、詰リ軌道ト云フノハ、鐵道即チ軌道トモナル、カ軌道ノ中ニハ本道

石道モ含シテ居ラナケレバナラス、其タメニ軌道ヲ特ニ現ハシタモノト思フ、鐵道ト書ケバ、軌道ハ要ラズ、軌道ト書ケバ、鐵道ハ要ラヌトナル、文字ヲ變ヘヤウト云フノデハナイガ、當局者ノ意思ヲハキリ説明シテ置クガ宜イト思フ、道路モ同ジク、ヤハリ公道ト云フ意味デアラウト思ヒマスガ……

○政府委員田中隆三君 鐵道軌道ト分ケマシタノハ、鑛業條例實施後ニ、段々諸般ノ法律ガ出來マシテ、鐵道ハ是ヤノ物ヲ云フ、軌道條例ハ斯ク々々ノ物ヲ支配スルト云フヤウニ、鐵道ト軌道ト分レテ參リマシタノデ、必シモ動カスカラザル區別デハナカラウト思フ、他ノ法令ニ於テ取扱フ異ニシテ居リマスノデ鐵道軌道ト云フ風ニ書キマシタノデアリマスケレドモ、其精神タルヤ、二十五條ト少シモ異リマセヌ、道路ニ致シマシテモ、先刻申シマシタ通、無論公ケノ道路ノコトヲ云ヒマスノデ、道路法其他ニ於テ道路ト云フ文字ニ使テ居リマスノデ、ソレニ據テ書キマシタニ過ギナイ、法律ハ少シモ異リマセヌ意味デアリマス

○委員長堀田連太郎君 第十二條ニ移リマス

○平岡浩太郎君 異議ナシ

○委員長堀田連太郎君 是モ委員長カラ一ツ説明ヲシテ置イテ貰フコトヲ請求シテ置キマス、後段ニモ段々使ッデアリマスガ、「訂正、増減及改正」トアル、是ハ多少ノ説明ヲシテ置イタ方ガ、宜カラウト思フ

○政府委員田中隆三君 訂正ト申シマスノハ、鑛脈鑛層等ノ狀況ニ依ッテ鑛區ヲ訂正スル場合、其場合ハ鑛業上、特種ノ保護等ヲ要スルノデアリマスノデ、此鑛業法中ニ特別ノ規定ガ有リマス、其場合ニ於ケル一種ノ鑛區ノ修正デアリマス、増減ト申シマスノハ、ヤハリ鑛區ヲ修正スルノデアリマスガ、單ニ仕事ノ便宜上、今マデ五万坪有ッテ居ッテ者ガ、七万坪ニシヤウ、或ハ十萬坪ニシヤウ、又ハ其反對ニ之ヲ減サウト云フ、簡單ノ意味ノ場合ニ於ケルモノ、改正ト申シマスノハ、是ハ許可ニ錯誤ガ有リマシテ、錯誤ニ依ッテ鑛區ヲ直ス場合ノコトヲ、改正ト申シテ居ルノデアリマス、其ノ斯ク場合ニ付イテ、イロ／＼規定ガ異ッテ居ル點モ有リマスシ、又今日ノ言葉デ、例ハバ鑛區訂正ト云フコトノ如キハ、唯今申シマシタヤウナ意味ヲ以テ、長ク是マデ鑛業社會ニ使ハレテ居ルノデ、此言葉ヲ改メテハ、却ッテ錯雜ヲ致シマスノデ、今マデ使ヒ慣レテ居ル訂正ト云フ言葉ヲ採ツタノト、今度改メテ此法律ニ依ッテ、訂正ト云フ意味ナシノ、簡單ナ増減ヲ許スコトヲ計ツタノデ、其場合ニ増減ト云フ言葉ヲ持ッテ來タノデアリマス

○委員長堀田連太郎君 モウ一ツ附ケ加ヘテ茲ニ説明シテ置イテ貰ヒタイノハ、後段ニモ合併及分割ト云フヤウナコトガ有ッタカト、記憶シテ居ルノデス、若シ無クテモ、現行法ニハ合併分割ト云フコトガ有ル、是ハ訂正ノ中ニ籠メテ解釋シテ居リマス

○政府委員田中隆三君 性質上カラ申シマスレバ、合併ノ如キハ或ハ分割モ一種ノ訂正ニハ相違ゴザイマセヌ、併ナガラ合併分割ノコトニ付イテハ、特ニ後トニ規定ガ有リマスノデ、十二條中ニハ入リマセヌ

○委員長堀田連太郎君 別ニ御異議ガ無ケレバ、第十二條ニ移リマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長堀田連太郎君 別ニ御異議ガゴザイマセヌバ、第十四條ニ移リマス

○藤金作君 十四條、是ハ第六章八章ニ行ッテ御尋ネ申シテモ宜シウゴザイマスガ、國ノ鑛業ト雖モ一般鑛業ト見做スガ、却ッテ適當デアラウカト云フ考ガ有リマス、是ニ對シテ意見ハゴザイマスケレドモ、意見ハ述ベズシテ、是非此案ノ如ク爲サネバ差支ヘルト云フ理由ヲ、一ツ御説明ヲ……

○政府委員田中隆三君 是ハ先日モ大要申述ベシタ如ク、國ノ事業ニ對シテ、稅ヲ課スルト云フコトハ、大抵ノ場合無イノデ、先ヅ大體カラ申シマスレバ、國家ノ事業カラハ稅ヲ取テ居ラナイト云フヤウナコトガゴザイマスノト、今一ツハ國ノ事業ニ對シテ稅ヲ課シテモ、右ノ手テ出シテ左ノ手テ取ル、一人ノ者ガ出入レヲスルト云フヤウナコトデ、唯徒ニ手數ヲ増スバカリデ、格別利益ガ無イ、斯ウ云フヨウナ意味デ、六章ヲ除クト云フコトニナラナラマス

○藤金作君 此ハ此ノ國ノ鑛業ニモ、鑛業トナレバ、一定ノ鑛業條例ノ範圍ニ置イタ方ガ、適當デアラウト認メマス、成タケ簡單ニ理由ヲ述ベマス、政府ノ御意見デハ、國ガヤルモノニ國ニ稅ヲ出スコトハ、徒ラニ無用ノ手數ヲ要スルニ止マルト云フヤウデアリマス、サウ云フ會計法ハ他ニモ幾ラモ有ル、今多クノ豫算ノ出テ居ル中ニモ歲入ニ入レテ歲出ニ出ス、國ガ使フ金ナレバ歲入ニ入レテ歲出ニ出スハ、徒ラニ其豫算ヲ繁文ニナスベキコトデアルト云フ議論モ起ッテ來マス、均シク鑛業ノ結果ニ依ッテ鑛物ノ價格ニ異動モアル國ハ、多少怠惰ノ事業ヲヤッテ居ル、其事業ノ結果國ノヤッテ居ル鑛業ハ甚ダ不利益ニナッテ居ル、而シテ國稅モ納マラス、鑛山稅モ納マラス、ソレ故ニ國ガ鑛業ノタメニ、一般普通ノ鑛業者ハ、非常ニ迷惑ノ感ズルコトカ多ク有リマス、其實例ヲ舉ゲルノ必要ガアレバ、幾ラモ有リマスガ、是ハ鑛業法案ヲ議スル精神デナイカラ、其事實ハ舉ゲマセヌガ、ヤハリ一方ニハ稅ヲ取リ、一方ニハ其稅ノ豫算ニ組込ムト云フコトハ、サウ格別大層ナ手數ヲ要セヌコト、而シテ其鑛業ヲヤルトコロノ當局者ハ、鑛業經濟ノ上ニ於テ、大ニ警戒ヲ與フルノ一端ニモナル、故ニ國ガ鑛業ヲヤレバ、則チ鑛業條例ノ支配ノ下ニ立ツト云フコトニシテ、十分其事業ニ熱心ナルコロヲヤラセマセヌト、總テ不利益ナルコトガ、多ク認ムルコトガゴザイマス、故ニ文章ハドウ書イタラ宜シイカ、又十四條ヲ削除スルガ宜シイカ、兎ニ角私ノ精神ハ國ノ事業ト雖モ、鑛業ヲ自ラヤル場合ニ於テハ、一般普通ノ鑛業條例ノ支配ノ下ニ立タシムルト云フコトハ、最モ必要ナコトガアルト信ジマス、願クハ諸君ノ御賛成ヲ願ヒマス、(贊成々々ト呼フ者アリ)若シ之ニ政府委員ノ御反對ガアレバ、私ハ事業ヲ舉ゲテ大ニ起立シテ議論ヲ致シマス

○委員長堀田連太郎君 藤君ニ御尋ネ致シマスガ、アナタノ御趣意ハ本法ハ第六章及第八章トアル、此第六章ダケヲ削ッテ、第八章ハ其儘存シテ置クト云フ御意見デスカ
○藤金作君 チョットソコハ御斷リヲ申上ゲナケレバナリマセヌ、第八章ト第六章トノ關係ヲ、今暗記シテ居リマセヌカラ……

○委員長堀田連太郎君 申上ゲマスガ、八章ハ即チ罰則ニ關スル件、之ハ御注意マデニ申上ゲテ置キマスガ、此間政府委員カラノ……
○藤金作君 分リマシタ、分リマシタカラ、一應申上ゲマス、此間政府委員ノ御説明デハ、國ハ決シテ反對ヲナスモノデナイ、爲ス能ハザルモノト云フコトヲ、御述ベニナタコトヲ、記憶シテ居リマス、併ナガラ國ト云フモノモ……

○委員長堀田連太郎君 サウデハナイヤウデス
○藤金作君 ソレナラバ、若シ之ヲ斯ウ御尋ネシタナラバ如何デスカ、八章モ六章モ取ッテ除ケテ、一般普通ノ鑛業法ノ支配ノ下ニ立タシムルト云ヘバ、國ノ事業ハ何處ニ差支ヘルト云フノ事實ヲ舉ゲテ、政府委員カラ御答辯ヲ願ウコトニ致シタイ、ソレニ依ッテ私共大ニ感ズルコトコガアレバ、或ハ八章ハ此通ニナッテモ宜シイノデアル、事實上差支ヘル、差支ヘナイト云フコトコラ、政府委員ノ御答辯ニナリマスヤウニ、私共大ニソレデ悟ルトコガアレバ、敢テ兩章トモ除クト云フコトハ、言ハヌカモ知レマセヌ

○政府委員田中隆三君 第八章ノコトニ付イテハ、國家自カラ犯罪ノ主體ニナルト云フコトハ、甚ダムツカシウゴザイマシテ、而シテソレヲ罰スルトスレバ、又特殊ノ法律ヲ設ケテ、其國ノ代表者ノドウ云フ部分ヲ罰スルト云フ風ニ、ヤッテ往カナケレバナラス、併シ何處ノ法律ニモ、サウ云フヤウナ例ガナイノデゴザイマス、ナイノハドウ云フコトカト云フト、官吏ニハソレノ服務規律、或ハ懲戒處分ト云フヤウナ、官吏ノ執行ヲ制裁スル法ガ、外ニ備ッテ居ルノデゴザイマスカラ、普通ノ罰則ハ官吏ニハ適用セヌ、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデゴザイマス、此場合ニ於テ第八章モヤハリ國ノ鑛業ニ適用スルトイフコトニナルト、サウ云フ次第ダ甚ダ法律ノ軀裁上カラモ、修正上カラモ、困難ヲ致シマス、又非常ナ新例ニナリマシテ、大分他ノ法令ニ關係ヲ及ボスコトガ多イノデス

○藤金作君 左様ナラバ、八章ハ原案ヲ贊成致シマシテ、六章ヲ削ルトコトニ、御同意ヲ願ヒマス
○委員長堀田連太郎君 政府委員ニ御尋ネ致シマスガ、之ニ付イテ別ニ御異議トハ申シマセヌガ、御説明ハ此上アリマセヌカ
○政府委員田中隆三君 唯今申上ゲマシタダケノ趣意デゴザイマス

○委員長堀田連太郎君 宜シウゴザイマス、ソレデハ私モ實ニ藤君ト同感デアリマシテ、若シ他ニ御反對ノ御説ガ出マスレバ、一應意見ヲ述ベヤウト存シテ居リマシタケレドモ、別ニ御反對モナイヤウデゴザイマスカラ、自分ノ意見ヲ述ベルコトハ止シマス、就キマシテ藤君ノ御發議ニ御異議ガナケレバ、(第六章及「四字ヲ削ルトニ致シテ、差支アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長堀田連太郎君 ソレデハ第十四條ハ「本法ハ第八章ノ」トナリマシテ、「第六章及「四字ハ削ルトニナリマスデ第二章鑛業權ニ移リマシテ、第十五條——別ニ御異議ガアリマセヌカ……」
○藤金作君 此第十五條ニ付イテ、但シ民法第百七十九條云々ト云フコトガゴザイマスカラ、チョット手控ニ民法百七十九條ヲ綜合シテ、調ベテ置カウト思ヒツ、其事ガ屆カヌデ居リマシタカラ、當局者ニ此百七十九條ノ第一項云々トイフコトノ、殊更ニ書イテアル理由ヲ、御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員田中隆三君 百七十九條ノ第一項ト云フノハ、所有權ト他ノ物權ガ同ジ人ニ歸シタ時ニハ、其他ノ物權ト云フ物權ガ消滅スルト云フ規定ナンデス、ソレヲ此鑛業ノ場合ニ致シマスルト、此鑛物ニ付イテ國家ガ所有權ヲ有ッテ居ルト云フコトヲ、既ニ第二條ニ規定シテゴザイマス、ダカラ國家ガ或ル鑛業權ヲ得マスルト、所有權ト鑛業

權ヲ同一ノ人ニ歸シタ譯ニナリマス、サウスルト、國家が鑛業權ヲ得ルト同時ニ、其鑛業權が消滅スルト云ハナケレバ、ナラヌヤウナ場合ニナリマスカラ、所有權ト鑛業權ヲ同一ノ人ニ歸シテモ、鑛業權ハ消滅シナイ、鑛業權ハ鑛業權トシテ存在シテ往クト云フ意味ヲ明カニスルタメニ、此但書ヲ加ヘマシタ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長堀田連太郎君 別ニ御異議アリマセネバ、第十六條ニ移リマス

○藤金作君 此第十六條ノ「鑛業權ハ不可分トス」トゴザイマス、此不可分トスト云フコトニ付イデハ、私ノ考ヘテ居ルトコロデハ、ドウモ少シ明カニ口ニ述ベテ御尋ネスルコトが出来兼マスガ、不可分ト云フ意味ヲ、一ツ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員田中隆三君 此鑛業權ハ、勝手ニ分割が出来ナイト、俗ノ言葉デ申シマスレバ、サウ云フコトニナルノデス、ソレハ唯今御議シナリマシタ十五條ニ「鑛業權ハ物權トシテ不動産ニ關スル規定ヲ準用ス」トナッテ居リマス、不動産ノ如キハ自由ニ分割が出来ルノハ民法ノ規定ナデス、併シ鑛業權ハサウ云フ譯ニ往カヌノデ、此分割が出来ヌノガ原則デアリマス、特別ニ分割ヲシ得ル場合ハ、後ニ鑛區ノ合併分割ノ規定ガアリマシテ、ソレニ依ッテデナケレバ分割ハサセナイデ、原則ヲコ、ヘ明カニシタノデゴザイマス、自由ニ分割サセナイ、斯ウ云フ意味デス

○藤金作君 此前十條項ニ於テ、鑛區ハ訂正増減、或ハ引分ケルコトが出来ルヤウニナッテ居ルノデゴザイマス、殊更ニ此鑛業權ハ分割サセルコトハ出来ナイトイフ意味ハ、假令六十坪ノ鑛區ヲ、三十万ト三十一万トノ二ツカニツカニ分ケテ、一ノ鑛業權一鑛區内ニ二人、或ハ三人デ鑛業ヲスルコトノ出来ヌト云フ意味デゴザイマス、鑛業權ヲ單ニ二ツニ割ルコトノ出来ヌト云フ意味デアリマス、ケレドモ此鑛業條例ノ全條ヲ見渡スト、鑛區ハ増スコトモ減スコトモ出来ル、又一部ヲ割イテ他ニ讓ルコトモ出来ルコトニナッテ居リマスガ、其融通ノ付ク點カラ考ヘマシマス、今ノ御説明ノ不可分トスト云フコトハ、撞着シハセヌカト考ヘル

○政府委員田中隆三君 ソレハ唯今御答致シマシタヤウナコトデ、二ツニ別ケテ、相當ナ仕事ノ出来得ル、適切ノ理由ガゴザイマスレバ、後トノ方ノ規定ニ依ッテ、所謂鑛區ノ分割ノ規定ニ依ッテ、適切ノ理由アリト認メマスレバ、農商務大臣ガ之ヲ許可ニナルノデゴザイマス、許可ニナルガ、ソレハ特別ノ理由ニ基イテ許可ニナル、十六條ノ方ハ普通ノ不動産ノ如ク、當然ニデス、所謂許可ノ權利トシテ、之ヲ別ノ方防グタメニ出来タノデ、今日デ云フト、裁判所等デ、組合人ヤ何カノ間ニ喧嘩ガ起ルト、此内半分割イデ、何ノ某ニ引渡セト云フヤウナ裁判ガ往々アルノデス、ケレドモソレハ到底分ケテ二ツノ仕事ヲ成立タセルコトが出来ナイ、農商務省ノ方カラ申シマス、サウ云フノガアルノデス、サウ云フコトヲ防グタメニ、原則トシテ、普通ノ不動産ノヤウニ可分ノモノデヤナイケレドモ、或特殊ノ意味ガアッテ、兩立シ得ル場合ニハ、後トノ分割ノ規定デヤッテ行カウト、斯ウ云フノデス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長堀田連太郎君 別ニ御異議ガゴザイマセネバ、第十七條

○藤金作君 第十七條ヲズット讀ミ下シマス「鑛業權ハ相續、讓渡、滯納處分及

強制執行ノ目的タルノ外權利ノ目的タルコトヲ得ス」トゴザイマス、此法文ノ趣旨ヲ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員田中隆三君 是ハ其原則トシテ今ノ鑛業權ハ、物權トスト云フ前ニ、既ニ規定ヲ置イタデアリマス、物權トシテ、普通ノ不動産ノ如ク取扱ハレルモノトシマスルト云フト、其物權ノ上ニ種々ノ權利關係ガ起テ来ルノデ、或ハ之ヲ貸貸スルトカ、俗ニ申シマスレバ「民法ニイロ」ナ權利關係ガゴザイマス、サウ云フコトガアリマスケレドモ、此鑛業權ハ外ノ權利トハ違ヒマシテ、唯今例ニ舉ゲマシタ、例ヘバ貸貸ノ如キハ、許スコトハ出来マセヌ、鑛業ヲスル者ハ、鑛業人デナケレバナラヌト云フ、原則ヲ採ラナケレバナリマセヌノデ、ソコデ鑛業人トシテノ活動シ得ル範圍デケハ、許スケレドモ、外ノ財産ノヤウニ自由自在ニ活動ヲ許サナイ、斯ウ云フ意味デ、ソコデ十七條ト云フモノガ出テ来マシタ、詰リ相續スルトカ、或ハ讓渡ストカ、又滯納處分、強制執行ノ目的ト爲スト云フガ如キハ、仕方ガナイケレドモ、其以外ノ權利トシテノ活動ヲ許サナイ、限定シタノデアリマス、其實行上ニ至リマシテハ、ヤハリ現行法ト變リマセヌ

○藤金作君 今御説明ニ依ッテ見マス、却ッテ此疑ヒヲ生ジマスガ、外ノ物權ノ土地ノ如キモノニ比例シテ見レバ、ソレハ貸借使用セシムルコトハ出来ルケレドモ、是ハ出来ナイ、併シ但書ニ於テ其採掘ノ抵當權ハ許シテアル、然レバヤハリ此本文ハ但書ヲ消エテシマウヤウナ譯ニナッテ、鑛區ヲ外ノ者ガ取扱フコトハナイケレドモ、委託採掘セシムルト云フ事實ハ澤山アル、却ッテ但書ガナケレバ、其精神ガ透ルケレドモ、但書ノアル以上ハ、本文ハ消エテシマウヤウニナッテ、蛇足ノヤウニナリハシナイカト考ヘル

○政府委員田中隆三君 但書ハ抵當權ハ許シタノデアリマス、採掘權ノ抵當權ハ許スケレドモ、試掘權ノ抵當權ハ許サナイガ故ニ、此但書ガ這入りマシタ、此但書モ鑛業人ハ總テ抵當權ヲ許スナラバ、ヤハリ前ノ方ヘ持ッテ行、テ宜イノデス、ケレドモ之ヲ二ツニ別ケマスノデ、採掘權デケハ抵當權ヲ許シマシタカラ、但書ガ這入りマシマス、委託採掘ト云フコトハ許サナイ積リデアリマス、唯今デモ事實アルカハ知リマセヌガ、ソレハ表面上何處マデモ許可ヲ得タ鑛業人ノ鑛業ト看做シテ居リマス、責任ヲ有ツタ鑛業人ノ仕事トナリマスノデ、普通ノ委託トカ、貸渡トカ云フヤウニ、貸渡シテシマヘバ、貸渡ヲ受ケタ人が、責任ヲ有ツ、權利ヲ持ツト云フヤウナ譯合デナイノデ、ヤハリ鑛業人ガ直接ニ權利ヲ得、責任ヲ有ツト云フノガ、鑛業ノ性質ノ趣意デアリマス、貸渡スト云フコトハ、甚ダ此鑛山ノ鑛利ヲ保護スル上ニ於テ面白クナイ、認ムベカラザル所爲デアルトシテ、之ヲ許サナイヤウニスルノハ、先ヅ外國ニ於テモ多ク採用シテ居ルトコロノ主義デゴザイマス、貸渡ノ如キハ借受ケタ人が、或期限内ニ勝手ニ掘ッデシマウト云フト、鑛山ノ將來ノ利益ヲ大變ニ害サレル、普通土地ノ如キハ、例ヘバ貸シマシテ、借リタ人が之ヲ耕シテモ、貸シタ人が耕シテモ、格別ノコトハゴザイマセヌケレドモ、鑛山ノ方ハ借リタ人が勝手ニ、或利益ヲ取ルヤウナコトヲスルト、將來ノ利益ヲ害スル虞ガアルノデ、ソレガ延イテ國家ノ害ニナリマスカラ、貸渡ノ如キハ許サナイト云フ趣意ニナッテ居リマス

○藤金作君 スルト此但書ノ採掘權ハ、抵當權ノ目的ト爲スコトハ出来ルケレドモ、採掘權ノ抵當權ノ外、債權者ガ採掘スルコトが出来ヌト云フ意味デスナ

○政府委員田中隆三君 左様デス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○伊藤傳右衛門君 此十七條ハ、餘程第二章ノ鑛業權ノ精神ト、抵當權ヲ許ストコロノ範圍ヲ廣クシタ目的ト、其實質トニ於テハ、大分意味が違ウヤウデス、餘程是ハ考慮ヲ要スル法文デゴザイマセウト考ヘマス、抵當權者ハ單ニ其抵當權ヲ有テ居ルカラ、債權者即チ、鑛業權者ニ向テ、鑛業ヲ停止スルコトハ出來ヤウ、若クハ自分ニ債權ノタメニ取上ケルコトハ、出來ヤウケレドモ、或賃金ノ償却ノタメニ、何年間其採掘權ヲ自ラ使用スルコトノ約束ヲ、法律ハ許サヌコトニナル、然ル時ニ於テハ、鑛業ヲ物權ト認メタトコロノ法律ノ定義ニ、大變反對スルモノデハナカト云フ疑ガ起ル、餘程是ハ攻究スベキ法文デハナカト私ハ考ヘル、ソレデ今マデノ法文モ若シ此通ニナッテ居タトスレバ、ソレハマダ幼稚ナ時代デ、ソレヲ攻究スルコトノ居カヌデ居タモノデナカト考ヘル、故ニ是ハ假決議トシテ、委員長ガ先ニ御進ミニナレバ、先ヅ假リニ原案ヲ贊成セナケレバナラヌデゴザイマスガ、聊カ是ハ私ハ研究シテ見タイト云フ考デアリマスカラ、第十七條ハ外ノ諸君ガ此儘御贊成ニナレバ、暫時ソレニ從ッテ置キマス、サウナクハ此十七條ハ措イテ、少シ攻究ノ時間ヲ與ヘテ戴クト云フコトヲ希望致シマス、委員長ニ相談シテ置キマス

○坂本金彌君 私ハ十七條ニ付イテ御尋ネシテ置キタイ、鑛業權ハ物權トシタモノデスガ、物權トシテ十七條制限セラレタ、即チ質權ヲ限ラレタ來タ、此制限セラレタト云フコトハ、現今ノ鑛業條例ト對照シマスルト、ドノ條ニ當リマスカタ云フコトヲ、一々御尋ネシタイ、ソレカラモウ一ツハ、外國デモ斯ウ云フ風ニシテ居ルト云フ、先ノ御話デスガ、ドナ國々ガ、斯ウ云フ風ニ、物權トシテ制限シ、若クハドナ國ハ制限シテ居ラヌデゴザイマセウカ、若シ御承知デゴザイマスレバ、ソレモ承リタイ

○政府委員田中隆二君 御答致シマスガ、是ハ現行法ノ第二十條デゴザイマス、現行法ノ二十條ニハ「特許ヲ得タル鑛物ノ採掘權ハ賣買讓與又ハ書入ヲ爲スコトヲ得」斯ウ書キマシテ、賣買讓與書入即チ今度ノ抵當ニ當リマス、此三ツノ行爲ノ外ハ出來ナイト云フ風ニ限ラレテ居ルデゴザイマスカラ、唯今ノ箇條トハ大差デゴザイマセヌ、寧ろ今度ノ方ガ幾ラカハキリト意味ヲ明カニシタデゴザイマス、ソレカラ外國ノ例ト申上ゲマシタノハ、一々何國ト申上兼ネマスケレドモ、殆ド總テガ此貸借ノ如キモノヲ、許シテ居ラヌヤウニ心得テ居リマス、ソレハ鑛山ノ性質上——何故許サヌカト云フ點ニ付イテハ、鑛山ノ性質上永遠ノ利益ヲ圖ルタメニ、仕事ノ仕方ハ自ラ規則ガアル、之ヲ貸渡シテ借受人ガ借りテ居ル間ニ、出來得ルだけノ利益ヲ取ツテシマウト云フ意味デ、所謂濫掘ヲスルト云フコトハ、國家永遠ノ利益ヲ損アルト認メテ、多少監督上カラ之ヲ監督シテ往ク途モアラウケレドモ、併シナカク「サウ能ク手ノ届クモノデナイト云フヤウナ意味デ、詰リ鑛業人ナラザルモノガ、鑛業ヲスルト云フコトハ宜シカラヌ、斯ウシタノデアリマス

○藤金作君 政府委員ノ御説明デハ、他人ニ抵當權ハ設置シテ宜シイケレドモ、採掘權ヲ人ニ渡ストキニ於テハ、其鑛業ガ甚ダ不親切デアッテ、鑛利ヲ損スル、不利益デア、斯ウ云フ御説明デゴザイマシタガ、却ッテ斯ウ云フ結果ニナリハセヌカト思ヒマス、鑛業權者ガ、鑛業權ヲ他人ニ書入シテ鑛業ヲ自ラヤシテ居ルト云フ場合ニナルト、其鑛區ノ價值ノ増減ト云フモノハ、鑛業ヲ自ラヤルモノヨリモ、金ヲ貸與ヘタ抵當權者ノ方ガ、却ッテ重キヲ置ク方ニナル、人ニ金ヲ借りテ鑛業ヲヤシテ居ル間ハ、即チ鑛業ノ永遠ノ利害關係ヨリモ目下借りテ居ル間ニ、十分之ヲ私ニ早ク公利ヲ取上ケルタメニ、暴掘ヲスルト云フヤウナ憂ノナイトハ言ヘヌデゴザイマスカラ、其點ニ於テハ政府委員ノ説明ヨリモ、却ッテ其抵當權者ガ採掘權ヲ得ル方ガ、鑛業ヲ愛護スルコロノ利益ガアリハセヌカト考ヘル、ソコデ政府委員ノ認メテゴザルコロト、私ノ解釋トハ違ウデゴザイマス、先ヅ此外國ノ例ノ、有ル無シニ一向頓着ガゴザイマセヌ、十分研究シテ外國ヨリ進ンダ法文ヲ作ル方ガ、吾ミノ責任ダラウト思ヒマスカラ、私ハ此案ニ付イテハ、或ハ全體ヲ決定スル前ニ、意見ヲ提出スルカモ知レマセヌ、唯今ハ原案ヲ贊成セヌデ置キマス

○坂本金彌君 私ハ此十七條ハ削除説ヲ提出致シマス、鑛業權一ノ物權トシテ政府ハ御認メナリ、又十五條ニ既ニ物權ト規定シタノデアリマス、一ノ物權トシテ、サウシテ其物權ヲ完全ニ行フコトヲサセヌト云フノハ、何カト云ヘバ、今ノ田中君ノ御説ノ通り、此鑛業權ヲ貸借デモ、若シスル場合ニハ其タメニ濫掘ノ虞ガアル、斯ウ云フコトガ理由ニナッテ居ルヤウニ思ハレルデゴザイマス、今日ノ日本ノ有様デ、鑛業權ヲ人ニ貸借ヲ致シマシテ、サウシテソレヲ採掘致シマスルト致シマシテモ、全軀已レノ鑛區ヲ人ニ貸借ヲスルト云フヤウナ人ハ、多クノ場合ハ自ラ稼グコトガ出來ナイト云フコロノ人ガ多イデス、自分二十分稼グト云フコロノ力ヲ有ッテ居ル人ガ、賃貸ヲスルト云フ例ト云フモノハ、先ヅ少ナイノデア、ソレニ種々ノ事情デ、随分自分ニ稼グ力ヲ有ッテ居ッテモ、賃貸スル人ガアルデスケレドモ、ソレヨリハ多クノ今日ノ有様ト云フモノハ、自分ニ實力ノナイタメニ、賃貸ヲスルト云フ方ノ人ガ多クハナイカ、是ガ今日ノ現狀デハナカト私ハ考ヘル、既ニ之ヲ今日ノ現狀ト致シマスルナラバ、其賃借ヲ致シマシタ人ガ、假リニ濫掘ヲスルト致シマシマシテモ、一面ノ方ノ鑛區權ヲ有ッテ居リマスル人ガ、稼グ場合ニ、濫掘シナイカト云ヘバ、ソレモ濫掘スルカ知レナイ、借りタ方ヨリ却ッテ貸シタ方ガ濫掘スル人間カモ知ラナイ、ソコニ至ッテハ、今日ノ私ハ國ノ有様トシテ、サウ徑庭ハナイト思フ、唯他人ニ貸シタ場合ニ、總テノ此鑛業法ニ對シノ責任ヲ、何人カ有ツカト云フコトヲ決定スレバ、ソレデ宜イノデア、ソレハ後ノ方ノ條ニ、又規定スル場所ガアリマスカラ、折角之

ヲ一ノ物權ト致シマシタラ、完全ニ物權トシタイ、ソレカラ外國デハ多クヤハリ物權トシテ制限シテ居ルト云フ田中君ノ御説デスガ、私ハ制限シテ居ラヌトコロガアルト思フテ居リマス、十七條ハ削除説ヲ、私ハ提出致シマス

○政府委員田中隆三君 十七條ニ付イテ段々御議論ガゴザイマスガ、是ハナカク唯今ノ坂本サンノ御議論ノヤウナコトニナリマスルコト云フト、鑛業權ノ性質ハ非常ナ唯今迄ト比較シテ、殆ド根本ヲ改メラヤウナ譯合ニナリマスルノデ、其結果此鑛業法中ニ諸般ノ種々ノ規定ヲ、置カナケレバナラヌヤウナコトニモナル、殊ニ私ガ唯今申上ゲマシタコトハ、甚ダ簡便デゴザイマシテ、多少誤解ヲ惹起シタト云フコトガ、アルカモ知レマセヌガ、是ハ獨リ鑛業權ノコトノミナラズ、日本ノ民法等デモ、所謂普通ノ人情ニ基イテ、人ノ物ハ我物ヨリハ、ザンザイニ取扱フコト云フノガ人情アル、ソレガ一般ノ人情デゴザイマス、ソレ故ニ此所有者ガ自分ノ所有物ヲ取扱フコトノ注意ト、借り手者ガ其借りテ居ル者ヲ、取扱フコトノ注意ト云フコトハ、注意ノ程度ニ自カラ差ガアル、ソレデ他人ノ鑛區ヲ或時期何年間貸シテヤル、來年ナリ來々年ナリニ、返サナケレバナラヌト云フモノデ、其有テ居ル間ニ、出來得ルダケノ利益ヲ擧ゲヤウト云フコトハ、鑛業ノ上カラ甚ダ危險デアル、尤モ持主ノ中ニモ永遠利益ヲ考ヘマセヌノデ、目下ノ焦眉ノ急ニ應ヘレテ、他日ノ損ト知リツ、不都合ナル鑛業ヲスルト云フ如キモノハ、ナイトハ申サレマセヌガ、所謂普通一般ノ人情カラ之ヲ判斷スレバ、我物ハ詰リ丁寧ニ扱フコト云フコトハ、先ヅ大軌ノ原則ト見テ差支ガナイガ、他人ノ物ハドウモ兎角濫用ノ虞ガアルノハ、一般アルト云フ普通ノ有様カラ、立テテ議論デゴザイマス、例外ノアルコトハ、固ヨリ承知デゴザイマス、而シテ此十七條ノ如キ規定ハ、先刻申上ゲマシタ如ク、既ニ現在ニ於テモ之ヲ實行シテ居テ、何等鑛業家ニ不便ヲ感ズルコトガナイ、却テ之ニ反シテ現在ノ法律ノ趣意ニ背イテ、鑛區ノ中ヲ割イテ、他人ニ仕事ヲサセテ居ルトカ、或ハ實際之ヲ貸渡シテ、本統ノ鑛業人ガ其場所ニ居ラヌトカ、責任ヲ有テ居ラヌトカ云フモノニハ、種々弊害ガアルノデゴザイマス、現行法ノ如クシテ行クコトハ、事實ニ於テモ適當アルト云フコトヲ、當局ニ於テモ認メテ居ル、ソレ故ニ十七條ハ、ドウゾ原案ノヤウニ御賛成ニナルコトヲ希望シテ置キマス

○横山一平君 私ハ坂本君ノ説ニ賛成デス、十五條ノ「物權トシテ不動産ニ關スル規定ヲ準用ス」ト書イテアル以上ハ、斯カル窮窟ナモノハ要ラヌモノト考ヘマスカラ……

○政府委員田中隆三君 十五條ノコトヲ今一應申上ゲテ置キマスガ、此十五條ハ先日摺物ニシテ差上ゲタノニ、悉ク書イテ置キマシタノデ、實ハ先程説明ヲ省略致シマシタガ、言葉トシテハ甚ダ廣イノデゴザイマス、廣イノデゴザイマスルケレドモ、總テノ取扱フ不動産ノ如クニスルト云フノガ、此十五條ノ趣意デハゴザイマセヌ、極ク特別ナ例ヲ申シマスレバ、鑛業權ニ關シテ種々ナ紛議ガ起ル、イロ／＼ナ紛議ガ起テモ、近頃ノ法律ハ非常ニ緻密ニナッテ居リマスノデ、物權アルカ債權アルカト云フコトニ付イテ、取扱ガ違ウヤウナコトガアル、其取扱ヲスル上ニ於テノ便宜、殊ニ又紛議等ニ付イテ、裁判所ノ管轄ヲ定メルトデ、今ハ何カ分ラヌノデゴザイマスカラ、鑛山所在地ノ裁判所デ裁判ヲシテ見タリ、鑛業人ノ所在デ裁判ヲシタリ、同シ事ニ付イテ兩方デ裁判ヲシテ、其裁判ガ抵觸スルト云フヤウナコトガアツタリ、或ハ又鑛業權ヲ相續スル上ニ於テ、不動産デアレバ

不動産トシテ、或ル鄭重ナル取扱ガアル、動産デアレバ動産デ、又簡單ナ取扱ガアルノニ、何方ノ手續キニ依ッテ相續シタノガ、相當アルカ、相續人ニ於テモ其方針ニ迷フコト云フコトガアツタリシテ、旁々實行上不便ヲ認メテ、其不便ハ此不動産ニ關スル規定ヲ準用スルト云フ規定ヲ置イテ、サウシテ防ケルト云フノガ、改正ノ趣意デゴザイマス、萬般ノ取扱フ不動産ニシタ方ガ宜イト云フマデノ、廣イ意味デハゴザイマセヌ、デゴザイマスルカラ、十五條ニサウ書イタカラト云フ理由ヲ以テ、十七條ヲ削除スルト云フ御議論ガアッデハ、甚ダ此法律ノ立方ノ趣意ニ違ウノデゴザイマス、是デ何カ特種ノ差支ガアルト云フコトアレバ、例ヘバ今段々御議論ノアリマシタル通ニ、鑛山ハ自由ニ貸渡スト云フ方ガ宜イト云フ、例ヘバ御意見デアレバ、或ハ十七條ノ中ニ貸渡スト云フコトヲ入レルトコロノ、一種ノ御議論ト、拜聴致シマスルガ、ソレニ賛成ハ致シマセヌガ、拜聴ハ致シマスルガ、貸渡ノ問題ヲ許シタガタメニ、此十七條ヲ皆削ズルト云フコトニナリマスル、本案ノ根底ガ崩レテシマウ、又ソレニ及ボストコロノ諸般ノ規定モアルデゴザイマシテ、甚ダ跋ナ法律ガ出來上ルヤウニナラウト思ヒマスカラ、ドウゾ御熟考ヲ希望致シテ置キマス

○藤金作君 此十七條ノタメニ事實ガ却ッテ其法律ノ網ヲ潛ツテ、或人ニ貸渡シテ、抵當權トナシ、又探掘權モ其範圍デヤラシテ居ル法律ガ、斯ウ云フ網ヲ被セテ居ルカラ、殆ド欺イテ貸渡シテ、人ニ探掘ヲサセテ置ク約束ガ成立ッテ居ル、是ノ如キコトガ却テ事實上ノ紛亂ヲ來タスコトモアルト、私ハ考ヘマセヌ故ニ、全部削ラウト云フ御説ニ、私ハ同意デアリマスルケレドモ、今俄ニ全部削ルコトヲ、坂本君ニ賛成シ兼テ居リマスノハ、事實ト法律トハ、成タケ差支ナイ限リハ、相適合スルコトニシテ置イタ方ガ、宜カラウト思フノデゴザイマス、故ニ抵當權ニ類シテ作レバ、其抵當權ノ時間タケハ、探掘權モ其人ニ任シテ差支ナイヤウナ法文ハ、最モ法律ト事實ト適合スルコトデアラウ、却ッテ法律ガ當業者ヲ欺イテ、人ニ負ハセテ、其表面タケハ委託トカ、委任トカ、代理者トカト云フコトヲ、欺キツ、アルト云フコトハ、甚ダ宜クナイコト、思フ、法律ガ却ッテ犯罪ヲ養成スルト云フコトニナリマスカラ、此所ニ於テハドウシテモ多少ノ修正ヲスルニアラザレバ、面白キ結果ヲ得ヌト思ヒマス、願クハ第十七條ノ規定ヲ後廻ハシテ願ヒタイ

○委員長堀田連太郎君 藤君ニ御尋ネ致シマスガ、サウスルト第十七條ハ、未決ニシテ置カウト云フデアリマスカ

○藤金作君 ドウカサウ願ヒタイ

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ私ガ一ツ諸君ノ御注意ヲ惹イテ置キタイ點ガアルノデス、段々此十七條ニ付イテ御意見ガ出マシタガ、今既ニ世間デ問題ニモナッテ居ル中ノ一ツデス、此探掘權ハ抵當權ノ目的トナスコトヲ得テ、何ガ試掘權ガ抵當權ノ目的トナスコトガ出來ナイカト云フ、新規ノ問題ガ起ツタ、ソレハドウ云フコトカラ來タカト云フト、今度ハ試掘ニ課税ヲスルト云フコトデ、實質ニ於テハ試掘モ探掘モエライ變リハナイヤウニナッテ來テ居ルノニ、何ガ試掘權ハ抵當ニスルコトガ出來ナイカ、抑モ此十七條ト云フノハ、第十六議會ニ出タ案、其儘出來テ居ル、其時ハ當局者ノ意思ハ、試掘ハ課税ヲシナイト云フコトヲ、精神トシテ成立ッタ法案デ、今度ハ試掘ニ課税ヲスルトシテ、或點タケハ變ッテ居ルガ、外ニハ變ッテ居ラヌ、臨時ニ此ニ稅ノコトダケヲ入レタモノデナイカト云フコトデ、世間ノ物議ニナッテ居ル、是ハ後ニ試掘ノ簡條ガ段々アリマスカラ、無論

其場合ニ、諸君ノ御考モ御陳述ニナリマセウト思ヒマシタガ、此ノ十七條ノトキニ、此ノ問題ガ委員會ニ現ハレズニ居ッタト云フコトハ、遺憾ニ思フ、本會ニ出テ報告スルトキモ確ニ其實問モ起ル個條ト思ヒマスカラ、別ニ御考ガアツテ、此際沈黙ヲ御守リナラバ宜シ、自然御考ガアレバ、兎ニ角種々議論ノ生ジマシタ案アリマスカラ、一應其邊マデ政究ヲシテ置イタガ、宜カラウト思ヒマス、諸君ニ於テモ其意見ガゴザリマセバセメテ當局者カラ此説明ヲシテ置イテ貰ッテハ、ドウカト思ヒマス

(賛成々々ト呼フ者アリ)

○政府委員田中隆三君 此ノ試掘權ヲ抵當權ノ目的ニナサシメナイト云フハ、試掘權ハ極ク短期間ノ二箇年ノ權利ト今度極メマシタノデ、詰リ運命ノ短イモノデアラカラ、之ヲ登錄スル如キ面倒ナ手續マデスル程ノ價值ガ、ナカラウト云フ取扱上ノ便宜カラ起リマシタ、特別ノ意味ガアルノデアリマセヌ、全ク採掘權ノ如キ、永久ノ權利デナイカラ、抵當權ノ如キ特種ノ權利ヲ、其上ニ設定スル必要ハナカラウト云フ位ノ考デゴザイマス

○神前修三君 私ハ藤君ニ賛成シマス、委員長カラ、今御話ガアリマシタ、試掘權ニ付キマシテハ、此條デ意見ヲ述ベヤウト思ッタガ、私ハ後トノ條デ意見ヲ述ベタイト思ヒマス、ソコデ今度ノ前ノ鑛業條例ト違ッテ、既ニ試掘ヲシテ、鑛業ナリト認メテ、鑛業權ト云フコトニ致シマシタル上ニハ、隨分法律ニ種々關係ヲ來ス箇條ガアラウト思ヒマス、十七條モ、後トデ藤君ノ御意見モ伺ッテ、修正ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、デ此處ニ思見ハ提出ヲ致シマセヌ、兎ニ角此場合ハ藤君ニ賛成致シマス

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ如何デゴザイマセウ、十七條ハ未決ニシテ置クコトニシテ、先ニ進ンデハ如何デゴザイマセウカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ第十八條ニ移リマス

○神前修三君 十八條ニ付イテ、政府ノ意見ヲ承リタイ、此ノ十八條ハ、元ノ鑛業條例ノ第九條ヲ、縮メテシマウタ譯ニナッテ居ル、而シテ第二項ガ新規ニ這入ッテ居ル、然ルニ此第九條ノ法文ノアリマシタ際ニ、鑛業條例ノ取扱振ヲ伺ヒマシタ、此ノ本議會ノ總體ヲ讀シマス際ニ、政府ノ御意見ヲ承リマシタ、其際政府委員ハ此鑛業條例ノ第九條ハ、殆ド贅條ノ如クナッテ來タ、サウナッタノハ全ク舊法ノ慣例モアリ、又之ト反對ノ說モアリ、一ハ經費モ許サヌタメニ、此ノ第九條ガ存在シテ居ッタニ拘ハラズ、其儘ウチヤテ來テ、今日アルトコロノ試掘ヲ許可シタモノハ、二十二億餘万円モアル、又此ノ第九條ガアルニ拘ハラズ、今日ノ試掘ヲ許シタモノハ、モウ數年間ノ成行デアアル、斯ウ云フ御説明デアリマシタ、ソレデ此第九條ヲ今度第十八條ニ縮メテ出サレマシタガ、是ハヤハリ以前ノ鑛業條例ノ第九條ノ如キモノニ、立到ル譯デナイカト云フ考ガゴザイマス、政府ハ今度此ノ試掘ニ付キマシテ、鑛業ナリト認メ、而シテ鑛業權ノ之ニ有タスト云フコトト、一ニハ又課稅ヲシマスレバ、此ノ澤山ナ試掘ガ多少減ラウト云フ考ヲ有ッテ居ラレデ、此ノ箇條ヲ此ニ掲ゲタノデハナイカト思ヒマス、併ナガラ此ノ試掘權者ハ、容易ナラヌ費用モ掛ケテ居リマスカラ、政府ノ目的ノ如ク一時ニ課稅ヲシタトコロガ、ナカノ、サウ減ルモノデナイ、サウ又ウツチヤラレルモノデモナイ、サウスルト二十二億萬餘坪ノ試掘地

ハ、ヤハリ存シテ行クコトニナラウト思フ、假ニ之ヲ一縣二十萬坪ト致シマシテモ、凡ソ件數ガ一萬件程アラウト思ヒマス、茲デ試掘ノ存續期間ヲ二年ト致シマスコトニスルト、此ノ試掘ヲ受ケテ居ル人々ハ、二年目ニ其試掘ノ願ハ換ヘルトカ、政府ノ方デ其ノ願書ノ取扱ヲセシナラントカ云ッテ、上下共ニ費用ノ掛ルコトデアラウト存ジマス、故ニ私ハ此二箇年トスルコトヲ改メタイト思フ、政府ハ茲ニ鑛業條例ノ第九條ヲ引張出シテ、又二箇年トシテ置カレタ、其理由ヲ伺ヒタイデアリマス

○政府委員田中隆三君 唯今ノハ、現行鑛業條例ノ意味ヲ、御取違ヒト思ヒマス、現行鑛業條例デハ二年以上ノ出來マセヌ、如何ナルコトガアツデモ、際限ナク意味スル意味デハゴザリマセヌ、延期シテモ延期ノ一年ヲ合セテ、一箇年シカ延ビマセヌ故ニ、今度ノ法律ハ、延期スル手續ヲ省略シテ、初メカラ二箇年トシタケデ、却ッテ手續ハ簡略ニナリマス、唯事實ニ於テ際限ナク、延ビタモノガアリマスカラ、ソレハ新タニ試掘ヲ願ッタノデ、是ハ今度ノ改正鑛業法ニ於テモ、少シモ差支ハアリマセヌ

○神前修三君 過日ノ政府委員ノ御説明デハ、サウデナカッタヤウニ承リマス

○政府委員田中隆三君 ソレハ事實ニ於テ、ズツ延ベタノガアツタト云フコトヲ、申上デマシタノデスガ、申上様ガ惡カッタカ知レマセヌ、事實ニ於テ切換ヘテ長ク續イタノガアツタノト、御承知ヲ願ヒマス

○神前修三君 先ニハ期限ガ切レタモノガ、澤山アルト云フヤウニ承リマシタガ、サウデナイト云フ御說ナラバ、其儘トシマシテ二年ト云フヲ延ハスニ付イテ、政府ノ御考ヘヲ聞イテ置キタイ

○政府委員田中隆三君 試掘ノ期限ヲ二年デナシニ、三箇年ナリ四箇年ニ延バスト云フ見込デスカ、ソレハ政府ニ於テハ反對致シマス、其意味ハ既ニ先日來申上ゲタヤウニ、試掘ニ付イテハ種々弊害ガゴザイマスルデ、其取締ノ規定モ、今度ハ彼方此方ニ含メタ積リテ居リマス、而シテ二箇年ト云フ期限ガアレバ、眞ニ試掘ヲスルモノハ、遺憾ガナイ、十分デアアル、是マデハ既ニ一箇年デ、先ヅ大丈夫デアアル、原則ヲ認メタイモノデアアル、今度更ニ擴張シテ二箇年ヲ原則トシタノデゴザイマスカラ、所謂實際ニ試掘セントスル人ハ、二年ノ期間ヲ以テ、十分其目的ヲ達スルコトガ出來ル、斯ウ認メテ居リマス、此上増ス必要ハナイト思ヒマス

○鹿島秀磨君 唯今ノ二年ニ付イテ、モウ一應伺ヒタイ、サウスルト二年十分試掘ヲ願ハウト云フノニ、願人二十分ノ期間デアルト云フコトハ、宜イトシテ、政府デハ此ノ從來ノ如ク、又人ガ代ッテ願出ルト云フコトデアレバ、事實ニ二年ガ四年六年ニナッテモ、ソレハ仕方ガ無イト云フ御答ノヤウデアリマシタガ、或ハ此某ノ何万何千坪ハ、既ニ某ガ試掘ヲ願ッテ、サウシテ二年ヲ經過シテ、モウソレハ何年間ノ間ハ許サヌト云フヤウナ工合ニスルカ、何カ事實ヤハリ過日御話ノアリマシタヤウ、又今御話ノゴザイマシタヤウニ、品ヲ變ヘテ名義人ガ變ッテ來レバ、ヤハリ何年デモイカンケレバ、止ムヲ得ヌモノデアアル、ソレニ對シテ別ニ制限ヲ實行スル制裁ハ無イト云フ意味デアリマスカ

○政府委員田中隆三君 御答致シマスガ、期間ノコトニ付イテハ、多少注意ヲ用井マシタ積リデ、例ヘバ第二十四條ノ如キ農商務大臣ニ於テ試掘出願地ヲ採掘ニ適スルモノト認メタルトキハ、採掘ノ出願ヲ命スベシ、其命ニ從ハナケレバ、試掘ヲ許可シナイト

云フ、規定がゴザイマス、是ノ如キハ丁度御尋ネノ如キ弊害ヲ防ガントスル目的ニ出デ、居ル、二年經テモ、又新規ニ願フ、四年經テ又新規ニ願フト云フヤウナコトヲシテ、事實試験ノ必要ノ無イ場所ヲ、試験以テ長ク占領セントスルモノニ對シテハ、私が申上テマシタヤウナ箇條ニ依ッテ拒ム、斯ウ云フ考デゴザイマス

○鹿島秀賢君 ソレデハモウ一ツ進ンデ伺ヒマス、此二十四條ト云フモノハ、大ニ勵行ナサル御積リカ、唯斯ウ云フ條がアルカラト云フニ過ギヌカ、其ドンゴコフ伺ヒタイ

○政府委員田中隆三君 丁度御質問ノ如キ弊害ヲ防グ目的ニ出デタノデゴザイマスカラ、苟モ弊害アリト認メタ場所ニ付イテ、躊躇ナク之ヲ實行スル積リデゴザイマス

○藤金作君 私ハ此試験存續期間登錄二箇年トアルヲ、三箇年ト修正シテ宜カラト思フ、政府當局ノ説明ヲ屢々伺ウトコロハ、試験ハ實ニ鑛業ノ殆ド妨害物ニナッテ居ルカラ、試験ヲ制限スル試験ノ弊害ヲ矯正スル、試験ナルモノハ、鑛業ノ最モ害物デアルト云フコトノミニ解釋シテ、法律ヲ制定セントスル意味デアルガ、私共ハ試験ニモ探掘ニモ、自ラ關係ハゴザイマセヌ、決シテ法ヲ作ルニ於テ、法律ヲ以テ、或意味ヲ以テ、此弊ヲ矯ムルト云フコトハ、甚ダ穩カナラヌコト考ヘル、試験ハヤハリ鑛業發達ノ重モナル仕事デアル、而シテ如何ナルモノト雖モ、弊ノ伴ハヌモノハナシ、然ルニ今度ハ此試験ニモ課税ヲスルト云フマデニナッテ來タ以上ハ、此試験ニ一ノ權利ヲ與フルト云フコトニナッテ、今日マデト雖モ、一箇年デアルケレドモ、尙一箇年手續上許シテアル、而シテ政府ハ如何ナル手續ヲ、今日爲シテ居ルカト云ヘバ、試験ナリ探掘ナリ出願シタモノニ付イテハ、數年間政府ハ之ヲ處分シナイモノモ澤山アル、或人ガ此試験ヲ出願シテ、數年ノ間ニハ出願ノ當時ハ、直ニ試験ノ事業ヲ爲スコトガ出來ル場合デアッテモ、其人其家ノ事情ニ依ッテハ、又許可ニナタトキハ、暫ク其事ニ着手セラレヌコトガアラウト思フ、然ラバ坪數ニ依ッテ課税マデスルコトナリ、又鑛業權ヲ認メタ以上デハ、却ッテ三箇年位時日ヲ與ヘテ置イタナラバ、今ノヤウナ弊害ハ少ナクシテ、始終試験ノコトヲ、此出願人ト鑛山監督ノ間ヲ、屢々往復スルコトナク、適當アラウト考ヘル、決シテ試験ヲ願フモノガ、悉ク其弊害者ノ考ヲ以テ、此法ヲ作ルト云フコトハ、頗ル惡ルイコト、考ヘマス、ヤハリ試験ヲ出願スルモノハ、鑛業上ニ熱心ナルモノト認メマス、中ニハ勿論山師ナルモノガアッテ、是ニ依ッテ暴利ヲ得ントスルモノモゴザイマセウガ、總テノモノガ少シモ弊ノ伴ハヌト云フコトハナシ、此試験ノ期限ヲ短クシテ、一方ニ稅ヲ課シテ試験出願者ヲシテ、頗ル壓迫スルト云フ如キハ、吾々平氣ノ頭ヲ以テ法律ニ參與シテ、之ヲ議スルニ於テハ、大ニ平氣ナル精神ヲ以テ考ヘナケレバナラス、故ニ一方ニ課税ヲシテ權利ヲ認ムル以上ハ、三箇年位ノ時日ヲ與ヘネバ、本當ニ試験ノ結果ヲ得ルコトハ、出來ナイモノデアラウト考ヘマス、故ニ私ハ之ヲ三箇年ト修正致シマス

○伊藤傳右衛門君 私ハ此十八條ノ原案ニ賛成ノ理由ヲ述ベマス、藤君ニ對シテ反對デゴザイマス、試験二箇年トアルノヲ、修正ヲ加ヘテ、三箇年ニスル必要アルマイト思フ、ソレハ先刻政府カラ述ベラレタ通、試験ハ二箇年アレバ十分調査ガ出來マスカラ、二箇年ノ中ニハ立派ニ鑛區ヲ探掘ガ出來ルト認メタ以上ハ、特許サレマスカラ、原案ノ二箇年トアルノヲ、一箇年修正シテ、殖ス必要ハアルマイト思ヒマスカラ、原案ヲ賛成致シマス

○金子元三郎君 政府委員ニ御尋ネシマス、十八條ノ二項ハ殆ド贅文デアアルマイト思フ、試験ノ權利ヲ認メラレタ以上ハ、存續期間ヲ變更セラレルコトハナカラウト思フ、又同時ニ鑛物ガ重複スル、石ノ鑛物ガ重複スル場合ハ、後ノ條ニ規定シテアル、之ハ一舛ドウ云フ譯デゴザイマス

○政府委員田中隆三君 御尋ネノ通、或ハ第二項ガナクテモ、二項ガアルト同ジヤウナ解釋ヲ爲サル、方ガアルダラウト、政府ニ於テモ信ジテ居リマス、併ナガラ坪數ヲ増シタトカ、何トカ云フコトノタメニデスナ、又増シタ部分ニ付イテハ、更ニ其許可ヲ得タトキカラ、二箇年デアルト云フ風ナ、說解ヲ惹起シテハ、立法ノ趣意ニ背キマスカラ、念ノタメニ斷ッタノデゴザイマス、併斷ッテ置カネケレバ、却ッテ疑ヲ惹起スル虞ガアルト、當局ニ於テハ認メテ居リマス、格別重大ナル規定デハゴザイマセヌ

○荒谷桂吉君 本員モ原案ガ宜カラウト思ヒマスルガ、チヨット御聽キフシテ置キタイコトガアリマス、全舛此全國デモ氣候ガ異ッテ居ルノデ、雪ノ降ル國ヘ往キマスカラ、奥羽トカ北海道ヘ這入ルト、試験ト云フヤウナ設備ガ、假リニアルトシテモ、モウ雪ノ降ル場合ニ許可ニナタト云フ時日ニナルト、小屋ヲ掛ケルトカ、鑛區地ヲ決定スルト云フコトハ出來ナイノデス、爲メニ半年ヲ費スト云フヤウナ事實モアル、殊ニ此鑛區ノアル所ハ多ク皆山ノ中デス、山ノ中ハ多クハ官林デアルデス、然ルニ其官林ノ許可地ニ對シテ、土地ノ使用ヲ願フト云フト、スルト實際ノ上ニ三箇月ガ當リ前、甚シク延ビルト大林區ノ取扱ガ、半年若クハ一年モ費シテシマッテ、實際ニ働クト云フコトガ出來ナイ、デアルカラ同ジ農商務ノ所轄ノ中デアルノデ、大林區ヘ何トカ御話合ニナッテ、此願ハ特別ニ願出タラバ、直グ調査ヲシテ許可スルヤウナ御取運ビニナッテ置ク、方ガ、鑛業上頗ル便利デアリマスカラ、サウ云フ御取運ビヲナサッテ宜カラウト思ヒマスガ、ソレハドウデゴザイマスカ、出來マスマイカ

○政府委員田中隆三君 御尤ナ御尋ネデゴザイマスガ、實ハ是マデ當業者カラハ、往往サウ云フ陳情ヲ聞キマスルノデ、山林ノ當局者ニハ屢々交渉致シマシテ、昨今ノ如キハ殊ニサウ云フコトニ注意ヲ致シテ置キマス、殊ニ金銀鑛ノ如キ、今度ノ法案ニモ、特ニ獎勵スルト云ウヤウナコトモゴザイマス、サウ云フモノ、如キハ、他ノ出願ニ先立ッテモ、早ク處分ヲシテト云フコトニマデ、既ニソレノ内諭ガアッテ位ノコトデゴザイマス、將來トモ十分其邊ハ心懸ケマス積リデゴザイマス

○金子元三郎君 十八條ノ二項ハ、私ハ削除シタイト思ヒマス、今ノ政府委員ノ説明ヲ聽イテ見テ、殆ド贅文ト考ヘテ居ルケレドモ、誤解ノナイヤウニ念ノタメニ書イタノダト云フヤウナ意味ニ取レマス、又法律ノ體裁カラ云デ見テモ、斯ウ云フモノハナイ方ガ宜カラウト思ヒマス、多少法律ノコトヲ考ヘレバ、斯ウ云フモノガナクッテモ、當然サウナルベキモノト考ヘマスカラ、一ニ項ハ削除シタイ

○鹿島秀賢君 金子君ノ削除說ニ賛成

○政府委員田中隆三君 御贊成ガアレバ今一應申上テ置キマスガ、置イテ少シモ差支ゴザイマセヌ、アッダガタメニ先程申上ゲルヤウナ、疑惑ノ種子ニナル、且其疑惑ヲ尙一層法文ニ當テ、申シマセラ、例ヘバ鑛區ノ増減致シマシテモ、改正致シマシテモ、十九條ニ依ッテ、ソレハ一々登錄ヲ致シマスノデゴザイマス、十九條ヲ御覽ニナレバ分リマ

スガ、即ち鑛業權ノ設定變更等ハ、一々登録ヲ致シマスノデ、十八條ニハ登録ノ日ヨリ二箇年トゴザイマスカラ、頗ル疑ヒヲ惹起ス虞ガアルノデアリマス、精神カラ申シマスレバ、先刻御答へ申シマシタ通、試掘權其ノ、本體ヲ言フノデアリマスカラ、増減變更ノタメニ期限ガ延ビル譯ハナイノデアリマスアレドモ、ドウモ多少ノ疑義ヲ挾ム餘地ガアルヤウデゴザイマスカラ、差支ノナイ箇條ト云フコトヲ御認メニナル以上ハ、第二項ハハハリ此儘ニ存置シテ置クコトニ、御贊成ヲ願フデ置キマス

○金子元三郎君 政府委員ノ唯今ノ御答辯デ、強イデハナイガ、差支ナイナラバ、殘シテ置イテ吳レト云フコトデゴザイマスガ、私モ強イデ在ルガタメニ差支ガ生ズルトハ認メヌデス、唯法律ノ體裁カラ取ッダガ宜カラウト思フ、今ノ政府委員ノ申サレル通、前ノ此試掘權ノ登録ノ本ト云フモノガ定マデ居テ、後ノ登録ヲスルノハ、其本ガ定マデ居ルノヲ、唯僅カバカリ増ストカ、減ラストカ云フヤウナコトデアリマスカラ、其主ナルモノ機關ガ定マデ居ル、ソレヲ變更シタモノデ、動クト云フ道理ガナイノデアリマス、サウ私ハ疑ヒヲ挾ム餘地ガナカラウト思フ、法律思想モ何ニモナイ人ガ云ッダラ、或ハドウカ知ラヌガ、法律ト云フモノヲ楯ニ取ッテ云フ人ナラバ、疑ヒヲ挾ム餘地ハナカラウト思ヒマス、ソレデカラハ贅文デスカラ、法律ノ軀裁トシテ、取ルガ宜カラウト思ヒマス

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ先刻カラ段々御説ガ出デ居リマスガ、藤君ノ存續期間ヲ二箇年トスルコトニ付イテハ、御贊成ガナイト認メマス、ソレカラ金子君ノ但書ヲ削除スル、即チ一前項ノ期間ハ鑛區ノ増減又ハ改正ノ爲變更セラルコトナシ之ヲ削除スルト云フ御説ガ出マシテ、贊成者ガゴザイマス、之ニ付イテ決ヲ採リマス、金子君ニ贊成ノ御方ハ手ヲ御舉ゲ下サイ

舉手者 少數

○委員長堀田連太郎君 少數、サウ致シマスルト、第十八條ハ原案ノ通、決定致シマス 第十九條ニ移リマス

○藤金作君 チョット政府委員ニ御尋ネテ致シマス、此第十九條ノ脱退ト云フハ、ドウ云フ場合ヲ云フタノデアリマスガ、數人ノ協同者ノ中、一人自分ハ此鑛業ニ協同シテヤルコトヲ望ムスカラ、一人除名シテ貫ヒタイ、ト云フ場合ヲ云フノデアリマスガ

○政府委員田中隆三君 御尋ネノ通デアリマス、除名シテ貫ヒタイト云ッテ望ムトキモアリマス、或ハ死亡トカ何トカ云フコトニ依ッテ、退クコトモゴザイマス、總デサウ云フヤウナ場合ノコトヲ申スノデアリマス

○藤金作君 今日デモヤハリ 現行法デモヤハリ數人ノ協同事業デ、一人自ラ退キタイト云フトキハ、退ク手續ガアリマスガ、今日ノトコロハナイノデスカ

○政府委員田中隆三君 今日デモ事實ゴザイマスノデアリマス、併ナガラ少シ取扱ヒガ異テ居リマス、今度ノ民法ニ、此組合ノ脱退ト云フ、或特別ノ規定ガゴザイマスルノデ、民法トノ鈞合ヲ取ッダノデアリマス、民法デハ其新タニ一人加ハッテ來ルトキニハ、元トノ組合カラ今度加ワッテ出來タ、新規ナル組合ニ移ッタモノト、斯ウ見テ居リマス、ソレカラ今マデ五人居ッダ人ノ中、或ハ二人ナリ一人ナリ退ケル方ハ、元トノ五人ノ組合カラ、四人ノ組合ヘ移ッダト見ナイデ、退ケル場合ヲ脱退ト區別シテ居ルノデアリマス、道理カラ申シマスレバ、雙方同ジヤウニ思ハレマスアレドモ、民法ニ規定シテゴザイマスノデ、

所謂讓渡シ、舊組合カラ新組合ヘ讓渡シタモノト云ハナイデ、脱退シタト、斯ウ稱シテ居ルノデアリマス、其民法ヲ其儘此處ヘ持ッテ參リマシタ、何故持ッテ參リマシタト云フノハ、共同組合人ニ付イテハ、組合ニ關スル規定ヲ準用スルト云フコトガ、先日御決議ニナッタ中ニアル、其民法中ノ言葉ヲ茲ニ借りテ來テ、脱退ト云フ言葉ヲ入レマシタ

○藤金作君 鑛業組合ノ中、一人ガ脱退シタイト云フ希望ガ有デモ、他ノ組合員ガ同意シテ連署セバ脱ケラレマセヌカ、一人ガ早ク罷メタイト云フ時ニハ、一人ノ意思デ脱退スルコトガ出來マスガ

○政府委員田中隆三君 ソレハ民法ノ適用デゴザイマスガ、私ノ記憶デハ、原則トシテハ相談協議調ハナケレバ、脱ケラレマセヌガ、或場合ニ組合トシテ不都合ノコトガアリ、組合ヲ繼續スベカラザルコトガアレバ、裁判ノ許可ヲ得テ脱退セシムル法ガ、民法ニ備ッテ居ル

○藤金作君 裁判所ニ出訴シテ、其判決ノ上デナケレバ脱ケラレヌトスレバ、一人ノ鑛業ナレバ何時デモ罷メラル、ガ組合デアル以上ハ、惡イ者ト組合ッダト、自ラ悟ルトコロアッテ、早ク脱ケタイト云フトキニ、他ノ者ガ反對スレバ訴訟シナケレバナラヌト云フテハ、迷惑ノ問題ニナリマスガ

○政府委員田中隆三君 私ノ申上ゲヤウガ惡ウゴザイマシタ、御尋ネノ如キ場合ハ、民法ノ六百八十條ニ依ッテ、組合員ヲ除名スル場合ガアル、御參考ノタメニ讀ミマスガ組合員ノ除名ハ正當ノ事由アル場合ニ限リ他ノ組合員ノ一致ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得但除名シタル組合員ニ其旨ヲ通知スルニ非サレバ之ヲ以テ其組合員ニ對抗スルコトヲ得ス

○藤金作君 ソレハ例ヘバ五人ノ中一人ガ惡イカラ、四人ガ之ヲ脱ケルコトハ、ソレデ出來マセウガ、四人ガ惡クテ一人ノ資産家ガ共同シテ、迷惑シテ脱ケタイト云フ時ハドウナリマスガ

○政府委員田中隆三君 民法デハ組合ノ權利ヲ持分ニ依ッテ極メテ居ル、會社ノ株數ノヤウニ一人ト雖モ決議ヲ左右スル場合ガ有ルカモ知レマセヌ、其悉シイコトハ、民法ノ組合ノ一般ノ規定ニ據ルノデ、鑛業ニ限ッテ特種ノ規定ハ無イト認メマスカラ、此鑛業法ハ民法ノ組合規定ヲ適用スル、斯ウ云フコトニシデアリマス

○藤金作君 鑛業ハ權利ト認メテアルガ、斯ウ云フ場合ノ權利ハ却テ非常ナル義務迷惑ヲ蒙ルコトモ有ルカラ、斯ウ云フ場合ニハ、一人之ヲ自分ノ權利ダケハ取消ヲ願フト云フヤウナ、法文ヲ設ケテモ差支ナイカト思ヒマスガ、ドウデゴザイマスガ

○政府委員田中隆三君 サウ云フコトハ、皆民法ノ規定中ニ在ルノデアリマス、御心配ノヤウナ場合ニ當飲マル規定ハ、民法ノ組合規定中ニ有リマス、ソレヲ一々鑛業法ニ持ッテ來ル手續ヲ省クタメニ、第七條ニ組合ニ付テハ民法ノ組合規定ヲ適用スルト書イデアル

○藤金作君 ソレガ協議デイカヌ時ハ、裁判所ノ手ヲ經ナケレバナラヌト云フ……

○政府委員田中隆三君 裁判ヲ經ナケレバナラヌト云フハ、語弊ガアリマス、爭ヒナレバ裁判ノ手ニ掛リマスガ、組合トシテハ二回目ニ申上ゲタヤウニ、決議案ニ依ッテ、一先ッ實行シ得ル途ガ有リマス

○委員長堀田連太郎君 十九條、御異議アリマセヌカ
（異議ナシ）ト呼フ者アリ
○委員長堀田連太郎君 第二十條ニ移リマス
（異議ナシ）ト呼フ者アリ

○委員長堀田連太郎君 第二十一條ニ移リマス

○神前修三君 私ハ此第二十一條ニ修正意見ヲ提出シヤウト思ヒマス、先ニ、十七條ノトキニ少シ意見ヲ述ベヤウト思ヒマス、此條ハ掘置ニナリマシタカラ、其時述ベマセヌデシタ、此法律案ハ前ノ鑛業條例ト全ク、面目ヲ異ニシテ、試掘採掘モ鑛業權ト斷定シテ明文ヲ掲ゲテアル、然ルニ第二十一條ニ來ッテハ、鑛業條例ノ明文ヲ其儘襲用シテ來タヤウナ譯ニナリマス、詰リ試掘ニ付イテハ鑛山監督署、採掘ニ付イテハ農商務大臣ニ出願スル、一ハ監督署長ニ出願シ、一ハ農商務大臣之ヲ許可スルト云フヤウナ、奇怪ナル觀ヲ生ジマス、苟モ同一鑛業權ヲ與フルコトデゴザイマスレバ、其認可權ヲ格別ニ分チ置クノ必要ハ無イト思ヒマス、鑛業權ナルモノハ、國家所有權ノ幾分ヲ分ッテ、私權ヲ發生セシムル程ノ重大ナル權能デアリマス、是ノ如キモノ一屬官ニ附與シ置クコトハ危險ト思ヒマス、故ニ私ハ斯ウ云フ修正ヲシタイ、加之二十四條ノ法文ト對照致シマス、矛盾ノ嫌ヒガアルヤウニ思ヒマス、第二十一條ノ試掘以下ノ十八文字ヲ削除シタイ、斯ウ云フ修正ヲ提出致シマス

○委員長堀田連太郎君 別ニ御贊成ガ無イヤウデアリマスガ、序ニチヨット政府委員ニ御尋ネシテ置キマスガ、現行法デハ鑛區圖ヲ一緒ニ出スコトガ出來ナカッタトキニハ、願書デケ出シテ置イテ、後トカラ鑛區圖ヲ出シテ宜イト、規定シテアッタヤウデスガ……

○政府委員田中隆三君 御尋ネノ通りデアリマス、先ヅ以テ略圖ヲ出セト云フコトニナッテ居リマスガ、略圖ハ實際略、鑛區圖デアリマス、却テ初メカラ圖ヲ出サセルガ宜カラウト云フノデ、改メタノデアリマス、尙此事ハ圖ヲ添ヘ云云ト云フノハ、實、細則ニ讓リマス積リテ、政府カラ出シタ、去年ノ案ニハナカッタノデアリマスガ、貴族院ニハ圖ガ附イテ居ナイデ、却下スルト云フヤウナ重大ナルコトナレバ、初カラ圖ヲ添ヘテ出シタ方が、宜カラウト云フノデ、修正ヲ致シタノデアリマス

（原案贊成）ト呼フ者アリ

○委員長堀田連太郎君 別ニ御説ガナケレバ原案ニ決シマス、第二十二條ニ移リマス

○平岡浩太郎君 第二十一條モ前ノ條項ト同シモノデカラ、私ナドハ異議ハアリマセヌ、原案贊成デス

○委員長堀田連太郎君 チヨット政府委員ニ字ノ意義デケラ明カニシタイ、名義ノ變更ト單ニ茲ニアリマスガ、是ハ相續ナリ讓渡ナリ等ノ總テノ場合ニ、名義ヲ變更スル必要ガアリマスガ、總テヲ指シテ居リマスカ

○政府委員田中隆三君 御尋ネノ通デアリマス

○委員長堀田連太郎君 第二十二條ニ付イテ御異議ナケレバ、次ニ移リマス、第二十三條

（原案贊成）ト呼フ者アリ

○委員長堀田連太郎君 別ニ御異議ガナケレバ、次ニ移リマス

○波多野傳三郎君 此二十四條ヲ始メ、二十五條、三十條、三十二條、三十七條ト云フヤウナ箇條ニ涉ッテ、農商務大臣ノ認定權ガ、大分強クナッテ居リマスガ、此認定權ノ適用如何ニ依ッテハ鑛業者ニ大分影響ノアルコト、思ヒマス、念ノタメニチヨット説明ヲ煩ハシタイト思ヒマス、此固形骸ノ鑛物ニ付イテハ、如何デアルカ知レマセヌガ、流動骸ノ鑛物等ニ付キマシテハ、果シテドラガ採掘ニ適スルヤ否ヤト云フコトヲ、認定スルト云フコトハ、難クハナイカト思ヒマス、其譯ハドウカト申マスルト云フコトヲ、巨知部博士ニ固形骸ノ炭量ノ調査ガ出來ルナレバ、流動骸ノ油田ノ調査モ出來サウナモノジヤナイカト、地質調査所長ノ資格ヲ以テ話シマシタ、夫ハ時ノ如何、金ノ如何ニ依ッテハ、出來ナイコトハナイト云フノデ、時ノ農商務大臣榎本子爵、又今ノ大藏次官阪谷君ナドハ、其當時熱心ニ調査ヲナサルト云フコトデ、大塚博士等ノ盡力デ、其圖等ガ出來テ居リマスガ、夫ナレバ夫デ果シテ流動骸ノ鑛物ノ存否ガ分ッテ居ルカト云フト、僅ニ鑛業者ガ實際ニ働イテ居ル跡ヲタドッテ、此政府ノ局ニ當ル技術者ハ調査ヲセラレテ居ルト云フコトデ、ナカノ政府當局ノ技師ノ調査デケテ、其存否ハ分ラヌト云フガ、實際ト思ヒマスガ、然ルニ大臣ガ先程政府委員カラ説明サレタ如ク、二年ノ試掘期限ガ來タト云フヤウナコトデ、引張ルト云フコトヲシテハナラヌカラ、サウ云フコトニハ、認定權ヲ適要スルノデアルト云フ、斯ウ云フコトモ云ッテ居ラレマシタガ、一體此認定權ヲ適用セラル、場合ハ、如何ナル場合ニ適用セラル、カ、一二例證ヲ承リタク存ジマス

○政府委員田中隆三君 此規程ハ先程モチヨット申上マシタ如ク、元ト主トシテ居ル採掘ニ適スルモノト認メタ、土地ヲ、採掘名義ヲ以テ占領シテ行クノ防ギニアルノデアリマスカラ、多クハ其場合ニ適用セラル、ノデゴザイマスガ、詰リ最早試掘ノ場合ヲ認メ、又確カニ採掘ノ價值ガアルト云フ證據ノ充分ナル場所ニ、適用スルノデアリマスカラ、例ヘバ御尋ネノ石油ノ例ニシマシテモ、單ニ石油ノ露頭ガ浸ミテ居ルガタメニ、夫ガ採掘ニ適スルトモ云ハレナイコトガ多イデアリマス、併シハ實際上デアリマスカラ、口デ云フコトハ困難デアリマスガ、明カニ採掘ニ適スルモノデアルト云フモノニ付イテハ、適用箇條デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○藤金作君 此二十四條ニハ試掘ニ付イテハ、農商務大臣ガ十分ニ許可スルコトニナッテ居ッテ、第二十一條ノ修正ノ御意見ニ依ルト、實際試掘ハ鑛山監督署長ノ權限ニ屬スルヤウニナリ、又二十四條ニナルト、農商務大臣ガ試掘ノ出願地ニ採掘ヲ命ズルト云フコトニナル、サウスルト甚ダ農商務大臣ガ試掘ニモ關係スルシ、又場合ニ依ッテハ試掘ノ出願採掘ノ出願ニシテモ、之ヲ準用スルト云フコトガ、第二項ニ記載シテアル、斯ウ云フ場合ハ、ヤハリ鑛山監督署長ガ、試掘ノ出願ヲ受ケタガ、是ハ採掘ノ特許ニ改メサスベキモノト認メルカラ、農商務大臣ニ稟議シテ、其命令ヲナサシムルト云フコトニナリマスガ、ドウ云フ場合ニ……

○政府委員田中隆三君 御答ヘ致シマス、御尋ネノ通デアリマス、詰リ監督署長ニ於テ取調ベマシテ、其結果農商務大臣ニ上申スル、農商務大臣ハ直接ニ部下ノ技師等ヲ上申ノ後派出サセテ、取調ニナルコトモアラウ、要スルニ試掘ト雖モ、權利ノ上ニ重大ナル關係ガアルコトデアリマスカラ、其裁定ヲ農商務大臣ニ仰ゲト云フ、斯ウ云フ趣旨デ

出來テ居リマス、前年ノ議會ニ政府カラ提出シマシタ案ニハ、鑛山監督署長トナツテ居
リマス、試掘ノコトハ總テ鑛山監督署長トナツテ居リマシタガ、貴族院御修正ニナツタ
ノデアリマス、御修正ニナツタ趣旨ハ、今申上ゲルヤウニ、權利ニ重大ナル關係ノアルコト
デアリカラ、一應農商務大臣マデ居ケテ、其判斷ニ依テ極メタ方宜イト云フノデアリ
マス、其御修正ニナツタコトニ付イテハ、政府ニ於テモ同意致シマシタノデ、此度ハ此通
ノ案ニ出來テ譯デアリマス

○藤金作君 此二十四條ノ趣旨ハ、一昨年出テ、十六議會ニ初メテ出タモノデスガ、
現行法ニハナイコトカト考ヘマス、ソレガ新タニ加ヘラレタモノデアルト思ヒマスガ……

○政府委員田中隆三君 御尋ネノ通デゴザイマス

○藤金作君 農商務大臣ニ於テ、此特別ナル權能ヲ必要トスル場合ガ、或ハアルカモ
知レマセヌガ、ソレハ大イニ研究スレバ、其事實ハ生レルコトモアリマセウガ、是マデ法律
ニナカツタモノヲ、新タニ斯ウ云フ非常ナ制裁ヲ加ヘルヤウナ條項ハ、私ハ無用カト考ヘマ
ス、ソレデ此第二十四條ハ削除シテ然ルベキコト考ヘマス

○金子元三郎君 藤君ノ本條削除說ニ贊成致シマス
○政府委員田中隆三君 唯タ削除說ニ御贊成ガアツタヤウデスカラ、簡單ニ申上ゲデ
置キマスガ、此箇條ヲ削除スルト云フヤウナコトデハ、先日來段々申上ゲマシタ、試掘ノ弊
害ヲ防グト云フコトハ、ナカク、目的ヲ達スルニ困難デアリマス、ソレハ先刻二箇年ト云
フ御議論モアリマシタカ、サウ云フ期限ヲ置テモ、何ニモナリマセヌ、二箇年目ニ垂ントス
ルトキニ、廢業出願ト云フコトヲ致シマス、一箇年ハ二十年デモ、二百年デモ續クノ
デ、一向試掘採掘ト云フモノ、根本ノ主義ヲ立テ意味ガナクナツテシマウノデ、之ヲ廢
ルト云フ御趣意ハ、ドコニアルカ存シマセヌケレドモ、兎ニ角廢スルト云フコトハ、餘程試
掘權、採掘權ト云フモノ、性質ノ重大ナル區分ヲ埋没スル意味ニナリマス、又間接ニ
ハ二箇年ト云フ期限ヲ、空文ニ歸セシムルコトニナラウト思ヒマスカラ、篤ト御熟考ヲ煩
シタイト思ヒマス

○委員長堀田連太郎君 私ハチヨット諸君ニ御諮リシツ、意見ヲ述ベヤウト思ヒマス
ガ、此二十四條ハ實ハ可笑シイノデスト云フノハ、兎ニ角試掘ヲ出願スルノハ、鑛山監
督長デアルト云フコトハ、第二十一條ニ極メテアル、ソレデ實際ハ監督署問題ニナツテ、
是ハ試掘ヲ許スベキトコロノモノデハナイ、採掘ニ適スルト云フコトヲ、農商務大臣ニ具
申シテ、農商務大臣ガ採掘出願ヲ命ズルコトニナリマセウケレドモ、イキナリ農商務大臣
ニ於テ云々ト書タナラバ、其間ノ手續キガマルデ取レテシマツテ居ルカラ、法文ガ不思議ナ
モノニナルノデス、ソレデ十六議會ノトキニハ、第二十二條トナツテ「鑛山監督署長ニ於
テ試掘ヲ出願シ採掘ニ適スルモノト認メタルトキハ採掘ノ出願ヲ命ズヘシ」トアル、是ナラ
バ意味ガ判然トシテ居リマスガ、サウスルト監督署長ガ採掘ノ出願ヲ命ズル權利ガ、直ニ
アルヤウニナツテ居ル、是ガ不都合デアルト云フノデ、貴族院デ農商務大臣ト書イタノデ
ス、法文ハドウ直シタラ宜シウゴザイマスガ、後トノコト、シテ、斯ウ云フ意味ニシタラ、完
備シヤウカト思ヒマス、ヤハリ農商務大臣ニ於テト云ハズシテ、鑛山監督署長ニ於テ試
掘ヲ出願シ、採掘ニ適スルモノト認メタルトキハ、農商務大臣ニ具申スベシ、農商務大
臣ハ其意見ニ依テ、採掘ノ出願ヲ命ズベシ、ト云フヤウナ意味ニシタラ、辻褄ノ合ハヌ

モノニナラズシテ、宜カラウト思ヒマスガ 如何デスカ
(「贊成」ト呼フ者アリ)

○金子元三郎君 私ガ唯今藤君ノ說ニ贊成ヲシマシタ理由ヲ、聊カ申上ヤウト思ヒマ
ス、其理由ニ付イテハ、現狀ニ合ハヌト云フヤウナコトハ、極ク簡單ニ藤君カラ御述ベニ
ナリマシタガ、サテ政府委員ハ試掘ハ總テ弊害ガアル、二箇年ト云フ期限ヲ置イテモ、殆
ドソレハ空文デアツテ、現在試掘ト云フコトニ付イテハ弊害ハ、絶エヌト云フコトヲ、屢々御
述ベニナリ、又試掘ナルモノガ、總テ弊害ノ基アルカノヤウニ、段々御話モゴザイマシ
タ、デ場合ニ於テハ此試掘ト云フモノハ、絶滅ヲ期スノデハナイケレドモ、成ベク此物ノ數
ノ減ズルコトヲ、希望シテ居ラル、カノヤウナ、御口氣モアツタヤウニ思フテ居リマス、ソレハ
其人ノ見ルトコロニ依ッテゴザイマスガ、本員ノ見ルトコロモ現在ノ試掘ト云フモノニ付
イテ、全ク弊害ガナイカト云フト、弊害ハゴザイマセウ、一般世ノ中ノ事、何事ニ限ラズ、
弊害ノ絶無ト云フコトハナイノデスカラ、多少ノ弊害ハ伴フテ居ルモノト思ヒマスガ、併ナ
ガラ試掘延期スルタメニ、ソレガ總テ弊害デアルト云フ斷定ヲ下スノハ、少シ速斷ニ失シ
ハセヌカト思ヒマス、是ガ一ノ監督署長ノヤウナ、他ノコトニハ餘所目モ觸ラヌデ、鑛山
ノ自分ノ商賈事務ノ取扱ケシテ居ル人ノ眼カラ見レバ、悉ク弊害ト云フコトガ、出來
ヤウト思ヒマス、サウデナク此鑛業上ノ、國ノ行政司人ノ眼カラ見レバ、決シテ悉ク
弊害トハ見ラレヌト思ヒマス、ソレハナゼカト云フト、鑛山ト云フモノニ對シテ、本邦ノ事
業家ノ意氣ガ一般ニ、ドウ云フ風ニナツテ居ルカ、又資本家ハ鑛山事業ヲ見ルニ、ドウ
云フ傾キニナツテ居ルト云フヤウナ、總テ万般ノ事柄カラ之ヲ考ヘテ見ナケレバナラヌト思
フノデス、サウシテ見マスルト、此間調査表デ御示シナリマシタモノデ、三十四年度ノ試
掘カラ採掘ニ移ッタモノガ百八十九、三十五年度ニ百二十一、三十六年度ニ百九十三
ト云フヤウニ、段々移ッテ居ルモノト思ヒマス、マダ移ラヌ、殘ッテ居ル試掘ノモノハ、總テ
弊害ガアルモノデアルト見ルコトハ、出來ヌノデアリマス、是ハ試掘ノ願ヒ變ヘヨスルノハ、
全ク今マデ當局者ガ見ラル、ヤウニ、不實ノ心デ權利ダケヲ壓ヘテ置クト云フ者モゴザイ
マセウ、併ナガラ眞正ノ自分ノ力デ爲シ能フナラバ、鑛業ヲナサントシテ居ル者モ、實際
ルニ相違ナイ、サウデナケレバ鑛山資本ヲ注入シテ、假令此試掘權ヲ長イ期間存續ス
ルニ付イテモ、大分ノ金ガ要リ、又試掘ト云フモノニ對シテ、相當ノ資金ヲ要スト云フ
コトハ、政府委員カラ御迴シニナツタ、鑛業法案ノ要旨ノ中ニモ、試掘ニハ設計トカ、作
業トカ云フコトヲ要スル、語ヲ換ヘテ云ヘバ、如何ニモ金ヲ多ク要スルモノデアルト云フ、
サウ云フ御見込ニナツテ居ル通、其通り試掘ヲ長ク存續スルニ付イテモ、相當ノ資金ヲ
要スル、資本ヲ投シテソレヲ、長ク持堪ヘテ居ルト云フノハ、或時期ガ來タナラバ、實際
ニ自身鑛業ヲ行フテ見タイト云フ考ガ、必ズアルモノニ相違ナイケレドモ、事情許スベカラ
サルコトガアツテ、遺憾ナガラ實際ニ着手ノ遲レテ居ルト云フ者ガ、多ウカラウト思ヒマス、
實際ノ實情ガサウカラウト思フ、又資本家ノ方ノ關係カラ云フテ見テモ、今日日本ノ現在
ノ中以上ノ資産家ト云フモノニ付イテ、實際鑛業ニ着手ヲシテ居ラル、極ク多クノ資産
家ハ、是ハ取除クテシテ、全ク從來鑛業ト云フモノニ關係シテ居ラナイトコロノ、資産
家ノ考ハ、ドウデアアルカト云ヘバ、鑛業ト云フモノニ付イテハ、容易ニ手ヲ出サヌト云フ傾
デハアルマイカト思フ、ソレハ往々例ノアルコトデアル、相當ノ資本家ガ自分ノ本業以外

ニ、鑛山ニ手ヲ出シタコロガ、サウ云フ人ガ手ヲ出スノハ、十分ナ調査ヲシテ、屢々試掘者ガ失敗ニ失敗ヲ重ネ——其失敗ハ事業ノ不成效ニアラズシテ、資本ノ闕乏ノタメニ失敗ヲシタ、愈々此モノガ確實ナリト認メタコロコデ、手ヲ下スノデハアルガ、手ヲ下シテモ、ソレガ十分ナ豫期シタ通ノ成效ヲ得ナカッタスト、其人ハ何デカ其事業ヲ表向云フコトヲ恥ヂテ居ルカノ如キ傾ガアル、又世間デ鑛山事業ニ付イテ、格別ノ損耗ガ無クテモ、他ノ方ノ事業デ多少損ヲスルヤウナコトガアッデモ、直ニ實業者社會ニ於テハ、アレハア、云フ山ニカ、ツタカラ、損ヲシテ居ルノデアルト云フヤウナコトハ、實業上ニ付イテハイロノノ機關ガアッデ、機關カラ機關ニ直ニ其ノ響ガ應ジテ、皆知レルヤウナコトニナッテ居リマスカラ、多ク實業者ノ方デ、鑛山ニカ、ル者ヲ以テ、唯一ノ山師ト見ルヤウナ風ノモノガ多イ

○委員長堀田連太郎君 金子君ニ御注意致シマスガ、大分試掘其物ニ付イテ、根本カラノ御議論ニナッテ居ルヤウデ、無論仰シヤッデモ差支アリマセヌガ、成ベク此箇條ニ適切ナ部分デ、御意見ヲ御吐キ下サイマシ

○金子元三郎君 ソレデアルカラ、今現在ノ政府ノ當局者ガ、試掘ト云フモノヲ見ル眼ガ異ンデ居ル、サウデアアルカラ、ソレガ根本カラ相違スルトコロデアラウト思フカラ、私ハ申述ベルノデゴザイマス、サウデアアルカラ、此試掘ヲ延べルト云フコトハ、多クハ資本ノ關係デラウト私ハ見テ居ルノデス、唯政府ノ方デ認メラル、ノハ、事業ノ起ラヌノハ、偏ニ惡イ考ヲ以テ、狡イ考ヲ以テ實際ニ事業ニ着手セヌデアル、詰リ總デガト云ッデモ宜シイ位、殆ド大部分ハデス、試掘其モノガ弊害デアル、斯ウ斷定ヲ下サレテハ、立案デアラウト思ハレルノデアリマスガ、ソレデアルトスト、今現在ノ試掘ノ弊害ト云フモノ、程度ノ見方ガ、大變異ルコトニナッテ來ル、又試掘ガ採掘ニナラズニ、實際ニ鑛業ノ起ランデ居ルノハ、多ク資本ノ關係デアル、ドウシテモ日本現代ノ全般ノ資本家ノ意向ト云ヒ、又實際實業上ノ關係カラ云フデ見テモ、ドウシテモ資本ノ關係ノ方ガ多カラウト思フノデゴザイマス、ソレデハ少シ話ガ外ニ涉ルヤウデアリマスガ、本員等ハ鑛業ノ最モ發達スルヤウニ、進歩スルヤウニ、成ベク此鑛業ト云フモノニ對シテハ、資本家ノ心ヲ注グヤウニ、導キ易イヤウニ、極便利ニナルヤウニ、手輕ニナルヤウニシタイト云フ考ヲ有ッテ居ルノデゴザイマス、又ソレ程ノ次第デアルニ拘ハラズ、現行ノ條例ニ異ンタ、斯ウ云フ規程ヲ置クト云フコトニナリマス、殊ニ資本家ヲシテ最モ躊躇サセルコトニナラウト思ヒマス、詰リ今日ノ鑛業ヲ發達セシムルニハ、資本家ノ心ヲ多ク此方ニ傾ケサセルコトガ、急務デアラウト思フノデ、成ベク現行ノ法律ニ著シク根本カラ變テ、果シテソレガ良イ方ニ往クナラ、格別、資本家ヲ躊躇サセルヤウナ、斯様ナ條項ハ、成ベク無イ方ガ宜カラウ、斯ウ云ウ理由デ、藤君ノ說ニ贊成シタノデゴザイマス、マダ併シ是ニ付イテハ澤山理由ヲ有ッテ居リマスケレドモ、先ヅ大體是位ニシテ置キマス

○神前修三君 此二十四條ハ、唯今委員長カラ御注意ガアリマシタ如ク、前ノ二十一條デ、私ノ修正意見ガ成立チマセナシタ、デ益々此二十四條ハ何トカセニヤ行カヌト思フ、今此處デ削除說モ出テ居リマスガ、之ヲ全ク削除スルト云フコトモ、少シ考ヘネバナラヌノデ、是モ十七條ノ如ク、暫ク後廻シト云フコトニ願フデハ如何デゴザイマス、私ハ延期ノ意見ヲ提出致シマス

○坂本金彌君 私ハ二十四條ニ付イテハ、全然原案ヲ贊成致シマス、試掘ノ出願地採掘ニ適スルモノト認メタキニハ、採掘ノ出願ヲ命ゼラル、ト云フヤウナコトニナッテ居ルニ付イテ、假ニ之ニ反對ニナリマス御方ハ、資本ノ闕乏ノタメニ早ク採掘ガ出來ナイト云フヤウナ場合ハ、多クアルノダト云フ御議論ガアリマシタ、是ハ御尤ナ譯ナノデ、隨分ソナ事情ハ澤山アリマス、アリマスガ一面ノ方カラ、既ニ採掘權ヲ得テ居ル者ハ、ドウカト云フコトヲ見マシタラ、採掘權ヲ得テ居ル者デモ、正當ノ理由ナクシテ、登錄ノ日ヨリ一箇年以内ニ、事業ニ著手セナシタキハトカ、一箇年以上休業シタキトカ、又施業案ニ依ラズシテ採掘ヲシタ者ハ、農商務大臣ハ鑛業權ヲ取消ス、斯ウ云フコトニナッテ居ル、既ニ採掘權ニナッテ居ルノデモ、一箇年以上休業スレバ、場合ニ依レバ本鑛業權デモ取消サル、ト云フ位ノ話、サウシテハハドウカト云ヘバ、現行法デモ多少文字ハ違フガ、意味ハヤハリ此意味ニナッテ居ル、既ニ採掘ニナッテモ、其位ニ致シテ居ルノデゴザイマスカラ、試掘ニ付イテ長ク著手シテ居ナイト云フ場合ニ、是ハ採掘ニ適シタモノデカラ、採掘ヲヤレト云フ命令ヲ下サル、ト云フコトハ、權衡上カラ申シテモ、當然ナノデス、又殊ニ此ノタメニ若シ鑛業ノ發達ヲ阻礙スルト云フヤウナコトデアレバ、殊ニ大切ナコトデアリマスカラ、最モ此條項ハ私ハ宜シイトコロノ箇條ト存ジマスルデ、原案ヲ贊成致シマス

○波多野傳三郎君 私モ贊成スルノデスガ、其贊成ニ付イテ、委員長ノ御注意ハ頗ル御親切ノ如クデアアルガ、其御注意ニ及バナクハナイカト私ハ思ヒマス、二十一條、二十二條ノ試掘ニ付イテハ、拒否ガ監督署長ニアリ、採掘ハ農商務大臣ガ是ヲ有ッテ居ラル、ト云フ鈞合カラ、試掘ヲ採掘ニ認定スルト、即チ採掘ノ關係デアアルカラ、農商務大臣ガ之ヲ命ズルハ相當デアル、其程度トシテ鑛山監督署長ガ申出ノ如キコトハアリマセウガ、農商務省內ノ勸キデ、施行命令カ何カ、書キタクバ書イテモ宜シイガ、法律トシテハサウ云フ細カナ手續ハ書カズシテ、丁度二十一條、二十二條ト、調和ハ相當ノモノデアルト思ヒマスカラ、此原案ヲ此儘贊成致シマス

○伊藤傳右衛門君 大分議論ガアリマシタガ、決ヲ採ッダラ如何デスカ

○委員長堀田連太郎君 今宣告シヤウト思ッテ居リシタ、ソレデハ第二十四條、削除スルト云フ御說、即チ藤君ノ發議デ、金子君ガ贊成サレテ居リマス、ソレデハ原案ニハ反對スル譯デアリマスカラ決ヲ採リマス、第二十四條ヲ削除スルト云フ說ニ、贊成ノ御方ハ手ヲ舉ゲテ下サイ

○舉手者 少數

○委員長堀田連太郎君 少數、ソレカラ法文ヲ長ク更ヘテ、鑛山監督署ト云フモノヲ挾ムト云フ說ガアリマシタガ、ソレモ贊成者ガアリマシタ、ソレハ本員カラ述ベマシタコトデアリマスガ、波多野君ノ注意モアリマスカラ、格別ノ必要モナイノデ、細則デ極メデモ宜シイカラ、之ヲ取消シマス

○金子元三郎君 此二十四條ガ多數ニナッタニ付イテ、チヨット政府委員ニ御尋ネシマス、此採掘出願地ガ尙其試掘ヲ要スルト認メタ場合ハ、事實アルコトデスカ

○政府委員田中隆三君 御答致シマス、採掘權者外ニ、同時ニ出願等ノ場合ニ地權ヲ與ヘテ居ル、ソレヲ或競争ノ起リマシタ時ニ權利ヲ得ントシテ、無理ニ採掘スル程ノ

價直モノナイン、採掘ヲスルト云フヤウナ願書ヲ出ス人ガアルカモ知レマセヌ、サウ云フ場合ヲ、詰リ防ク目的デ、固ヨリスウ云フコトハアルマイト思ヒマセケレドモ、ヤハリ道理ニ於テ同ジコトデゴザイマスカラ、採掘ト云フテ願書ヲ出スルコト云ツテ、未ダ採掘地トスル程ノ價值ガナイモノヲ、採掘ヲ許スト云フノハ、試掘權、採掘權ノ區分ヲ紊ルモノナリマスカラ、此箇條ガ這入リマスノデゴザイマス

○金子元三郎君 尙御尋ネシマス、サウ云フ場合ニ二十三條ノ「採掘出願人ハ出願地ニ於テ其ノ採掘セムトスル礦物ノ存在スルコトヲ證明スヘシ」トアル、之ハ證明ノ程度デゴザイマスカラ、採掘出願ヲ爲スニ礦物ノ存在スルノハ、唯何ガアリマスト云フ位ニ、試掘認可ヲ願ヒ出スト同ジヤウナ、風ノ書キ方デ、宜カウラト思ヒマセヌガ、ソレヲ特ニ二十三條ニ現ハシテ居ルコトヲラウト思ヒマセヌガ、是ハ程度ノ問題ニナツテ能ク分リマセヌケレドモ、尙一應御尋フシマス

○政府委員田中隆三君 固ヨリ礦物ナルモノガアルト云フ證明ガ、一ツモ採掘ニ適セヌト云フコトハゴザイマセヌガ、先刻云ツタ様ニ、石油ガソコニ出テ居ルト、礦物がアルニ相違ナイ、相違アリマセヌガ、果シテ採掘ニ適スルヤ否ヤト云フコトハ、モット一層ノ調査ヲシタ上デナケレバ、所謂採掘ニ適スルモノトナラヌノデアリマス、或礦物ノ現狀ニ依ツテ判然サウ云フ部分ノ區別ガ、出來得ラレナイ、雙方ノ間ニハ丁度ドッチノ部分ニ這入ッテ宜イカ分ラヌト云フヤウナコトモ、事實上ノコトデゴザイマスカラ——ナイデモサウシテ強イデ採掘ノヤツニ買ハシムル價直モノナイン、ケレドモ他ノ一方カラ採掘セントスル干渉ガ出テ來タメニ、試掘スルト云フコトハ、決シテ不都合ガナイト、コッチデ認メマシテモ、一方ニ採掘シヤウト云フ競争者ガ起テ來タガタメニ、其試掘ヲ眞實ニスル人ガ、ドウシテモ採掘ヲ改メナケレバナラヌヤウナコトハ、甚ダ不便ナコトニナラウト云フ考ヘデ、ソレデ唯今ノ三項ガ這入リマシタノデアリマス

○委員長堀田連太郎君 私ハ尙ホ改メテ申シマスガ、金子君カラ御質問ガ出マシタガ、政府委員ノ説明ノ通デ、別ニ他ニ反對スル御意見モナイヤウデアリマスカラ、此儘決定シタモノト認メマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長堀田連太郎君 次ハ第二十五條ニ移リマス、別ニ御異議アリマセヌガ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○金子元三郎君 私ハ此二十五條ヲ削除シタイト思ヒマス、何故ト云フニ、二十六條ニ、「採掘出願地ノ位置形狀礦床ノ位置形狀ト相違シ礦利ヲ損スルモノト認メタルトキハ採掘出願人ハ其ノ訂正ヲ出願スルコトヲ得」ト云フノデ、出願スルコトガ出來ルト云フ規定ガアリマシテ、ソコデ誰デモ費用ヲ使ツテ出願スルニ、礦利ヲ損スルヤウナ風ノ遣方ハ、誰モナイト思フ、ソコデ異デ居ルコロヲ見タコトガアルカモ知レマセヌガ、見出シタトキハ尙訂出願ガ出來ル途ガ、開ケテ居ルノデアリマスカラ、是ノ如キ條項ハ餘リ干渉過ギルヤウナ傾ガアリマストデ、是ハ不必要デアリマス、事實當事者ノ方カラ其途ガ開ケテ居ラヌケレバ、格別、訂正出願ノ途ガ開カレテアツテ、誰デモ實際已レノ事業ヲ爲ス者ガ、已レノ事業ノ不利益ニナルコトヲ書ク者ハナイ、故ニ此二十六條ノ規定ガアリマスカラ、之ヲ削除シタイト思ヒマス

○委員長堀田連太郎君 別ニ御贊成モナイヤウデアリマスカラ、決テ採リマス、削ルニ御贊成ハアリマセヌケレバ、原案贊成ト認メマス、次ハ第二十六條

(「是モ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長堀田連太郎君 御異議ガアリマセヌケレバ第二十七條ニ移リマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長堀田連太郎君 是ニ御異議ガアリマセヌバ第二十八條

○金子元三郎君 チョット政府委員ニ御尋ネ致シマスガ、二十八條ニハ「出願ノ當時單ニ礦區」トアツテ、二十九條ニハ「出願ノ當時他人ノ礦區」トアリマスガ、此區別ハドウ云フノデスカ

○政府委員田中隆三君 御答致シマスガ、二十八條ハ他人ニ限ラズ、自分ノ礦區デモ、自分ガ既ニ許可ヲ得テ居ルコロヲ、又願フト云フ場合ニハ、其願書ハ許可シナイト云フ意味デゴザイマス

○金子元三郎君 サウスルト二十九條ニサウ云フコトヲ……

○政府委員田中隆三君 二十九條ノ方ハ自分ノ試掘出願地ヲ採掘出願スルト云フコトガアリマストデ、事實自分ノ礦區ト重ナル場合ガアル、ソレ故ニ二十八條ト二十九條トノ區別ガ出來テ居リマス

○委員長堀田連太郎君 第二十八條ハ別ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長堀田連太郎君 サウ致シマス、第二十九條ニ移リマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長堀田連太郎君 御異議ガナケレバ第三十條

○金子元三郎君 第三十條デ「出願地ノ同種ノ礦物ナルトキハ」トアリマスガ、異種ノ礦物デハ……

○政府委員田中隆三君 ソレハ次ノ箇條ニ、ゾット現ハレテ來テ居リマス

○金子元三郎君 此三十一條ニ現ハレテ居リマスノハ、出願地ト礦區ト重複シタル場合ガアル、ソレハ能ク分ッテ居リマスガ、三十條ノ出願地ハ、出願地ノ異種ノ礦物……

○政府委員田中隆三君 出願地デゴザイマスカ、先願者ニ許可ヲ致シマスカラ、何種ノ礦物タルニ拘ラズ、先願者ニハ先ツ許可シテシマフノデゴザイマス、サウ致シマスルト、後ト異種ノ礦物ニ付イテハ三十一條ノ規定ヲ適用シテ行キマスト云フト、差支ナイ積リデゴザイマス

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ第三十條ハ別ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長堀田連太郎君 ナケレバ其次ニ移リマス、第三十一條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長堀田連太郎君 御異議ガナケレバ、第三十二條ニ移リマス

○金子元三郎君 三十二條ノ「又ハ礦業ノ價值ナシト認メタルトキハ」ト云フコトヲ削除シタイト思フ、公益ヲ害スルモノト認メタル礦業ノ價值ナシ、價值ノナイ所ヲ、費用ヲ使ツテ出願スル者ハナカラウト思フ

○政府委員田中隆三君 御尋ネハ一應御尤モデゴザイマスケレドモ、先日法案ノ要旨トシテ御手許ニ御廻ハシタモノニ、記載シテ置キマシタ通、是ハ固ヨリ多クアル弊害デハゴザイマセヌケレドモ、往々ニシテ弊ヲ認メマシタ、ソレハ例ヘバ土砂ヲ取ル目的デ鑛物デハゴザイマセヌ、試掘ノ許可ヲ得ル、或ハ山林ノ拂下ヲ得ル目的デ、試掘ノ許可ヲ得ルト云フコトデ、事實上明カニ其處ニ何等ノ鑛物ノアルベキモノデナイト云フコトガ、判然シテ居ルニモ拘ハラズ、鑛業權ヲ得ルモノガアルノデゴザイマス、サウ云フモノヲ防グ目的デ作リマシタ、弊ノナイ通常ノ場合カラ申シマスル、價值ノナイ所ヲ願フト云フ如キハ、甚ダ愚ノ如ク認メマスケレドモ、目的ハ別ニアルノデス、現ニ東北ノ鐵道ガ延長スルニ從テ、其線路ニ沿フテ殊ニ思ヒ掛ケナク試掘ヲ急ニ出スモノガアル、ソレハ何ノ目的カト云フト、試掘ノ許可ヲ得テ、ソウシテ土砂ヲ採ルトカ云フモノガ、往々アリマスノデ、此事ヲ附加ヘテ置クコトガ必要ナリマシタ

○藤金作君 第三十二條ノ「公益ヲ害スルモノト認メタルトキ」トアリマスル、此場合ノ事項ヲ舉ゲテ、政府委員ハ明カニ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員田中隆三君 公益ト云フ言葉ハ、是マデノ諸般ノ法律ニイロノ、現ハレテ居リマスノデ、頗ル明瞭シテ居ルヤウナ文字デゴザイマスガ、又屢々其公益ト云フノハ、果シテ公益ヲ害スルモノト認ムベキヤ否ヤ、或事實ヲ捉ヘテ公益ヲ害スルヤ否ヤト云フコトニ付イテ、議論ノ起ル例ハ往々アルヤウデゴザイマスケレドモ、詰リ文字ニ示シテアリマスル如ク、一般ノ公衆ノ利益ヲ害スルヤウナ場合ノコトヲ云フノデアリマス、唯今ノ例ニシテ申シマスレバ、是マデ或ハ其處デ鑛業ヲ興スガタメニ、多數ノ人民ガ或ハ飲料水ヲ失フトカ、何トカ云フコトノタメニ、公益ヲ害セラル、ト認メタル場合モアリマスシ、或ハ歴史上、其他或關係上、保存ヲ必要トスル場所ニ於テ、仕事ヲスルト云フコトハ、公益ヲ害スルモノト認メラレタ例モゴザイマスケレドモ、同ジ水ニ致シマシテモ、代リニ井戸ヲ掘ツ、サウシテ其害ヲ防グ、ソレガタメニ許可ヲ得ルト云フコトモゴザイマセウシ、甚ダ引拔イタ言葉デ、之ガ公益ヲ害スル、或ハ飲料水ヲ害スルト云フコトガ、公益ヲ害スルヤ否ヤト云フコトニ付イテ、サウダトモ斯ウダトモ、御答ハ致シ兼ねマスガ、實例ヲ申上ゲマスレバ、今申上ゲタヤウナコトデ、公益ヲ害スルト認メラレテ免許ヲ害サナカッタ例ガアルノデゴザイマス

○委員長堀田連太郎君 別ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ第三十二條ハ此通決シマス、次ハ第三十三條

○金子元三郎君 私ハ此中ノ「願書發送ノ日ノ先ナルモノ」ト云フ、所マデハ宜シノデアリマスガ、「願書發送ノ日同一ナルトキ」ハ、現行ノ條例ニ依ッテ「日時同一ナル」ト云フコトニ修正シタイト思フノデアリマス、ソレハ從來ニ於テモ殆ド時ヲ爭フタト云フコトデ、隨分爭ガアッタコトデ、段々アリマスルノミナラズ、往々監督署員ノ中ヨリ、或鑛區ノ試掘期限ノ切レントスルコトガ、豫メ洩レテ居ルコトモ段々アリマス、又其出願人ハ、期日ノ經過ニ心付カズシテ居タノヲ、監督署員カラ漏ラシテ、僅カノ間ニ他ノ者ガ代ッテ出願シタト云フヤウナ例モ、往々聞クトコロデ、サウデアリマスカラ此現行條例ノ十六條ニアルヤウニ「日ノ同一」トアルノヲ「時」トシテ「時」ト云フ字ヲ入レタイト思ヒマス、私ハ全

軌三十條デ質問シタイト思フ中ニ、此條ハ次ニ移ルト云フ御宣告ニナリマシタカラ、御尋ネヲ致シマセナンタガ、今申述ベタヤウナコトモ往々アリマスカラ、殊更ニ現行條例ニ「時」トアルモノヲ「時」ヲ取ツテ「日」デケニシテ置ケバ、今後益々競争出願ノタメニ、紛雜ガ多ク生ジヤウト思ヒマスシ、又イロノ、監督署員ト結托シテ、惡イ手段ガ行ハレルコトガアラウト思ヒマスカラ、是ハ修正シテ「日」ノ下「時」ト云フ字ヲ入レタイト思ヒマス

○政府委員田中隆三君 「日時」ト現行法ニアリマスノヲ、「日」ト改メマシタコトニ付イテハ、此方ガ却テ害ガ少ナクハナカラウカト云フコトカラ、改メマシタノデ、當局者ノ取扱ニ於キマシテハ、「日」デモ「日時」デモ變リマセヌ、ナゼ今迄ノ日時ニ弊害ガアツタカト云フト、農商務省デ判斷ヲ致シマスノニ、總テ書留郵便デ郵便局ノ證明ヲ取ルコトニナッテ居リマス、御承知ノ通、所ガ郵便局ノ中ニハ、隨分田舎デハ郵便局ト云フ名前前ガアリマシテモ、局ノ軌裁ヲ備ヘテ居ラヌ、手輕ナ郵便局ガ往々アル、其郵便局ニ於テハ、日時同一ト云フヤウナ場合ニ、ドウモ屢々其先ノ請取ハ違ッテ居タトカ、何トカ云フヤウナコトデ、訂正ガ起ツテ參リマス、其請取書ハ先日モ申上ゲマシタヤウニ、零時零分零秒ト云フヤウナ、詰リ解釋ニ苦ムヤウナ請取書ガ往々アルノデ、其弊害ノ程度カラ云ヘバサウ云フコトガ弊害デハナカラウカト云フ考デ、今度日ニ改メマシタ、併シ日ノ方ガ却ッテ弊害ノ虞ガアルト云フ御見込ナレバ、強イテ反對ヲスルコトデハアリマセヌガ、篤ト御熟考ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○伊藤傳右衛門君 私モ今ノニ賛成シマスガ、今政府委員カラノ説明デハ、時ト云フコトハ煩ハシイト云フコトデアリマスガ、私ハ日ト云フ方ガ却ッテ出願スル人ニ對シテハ、甚ダ困難ナコトガ生ズルト思フ、ソレハ隨分日ト致シマス、朝出タ其日ハ、大分何時間ト云フ猶豫ガゴザイマスカラシテ、甚ダ茲デ申上ゲテハ申シ惡イガ、田舎ノ監督署員ハ聯絡スルト云フコトガ屢々ゴザイマシテ、時デサヘ種々ノコトガゴザイマスカラ、之ヲ日ニシマシタナレバ、朝若イタ郵便方晚方マデハ其日ノ聯絡ガ取レマスカラ、種々ノコトガ出來マセウカラ、現行ノ通、日時トシタ方ガ宜カラウト思ヒマス、故ニ金子君ノ說ニ全然賛成ヲ致シマス

○坂本金彌君 私ハチヨット金子君ニ御尋ネヲ致シマス、ドウモ分リマセヌ、日ト時トヲ區畫スルノガ、日ト云フコトニナリマス、同日ニ出ル奴モアリマセウガ、時ト云フコトニナリマシテモ、今ノ田中君ノ云フ通、零時零分零秒ト云フヤウナ、ソシナモノガ澤山出テ來ルト、ヤハリ同ジヤウナ結果ヲ生ジヤセヌカト思フデスカ、何カソレニハ御考ガアルノデセウガ、承ハリタイ

○金子元三郎君 今ノ坂本君ノ御問ニ對シテ御答ヲ致シマスガ、實際今ノヤウナ日ハ時ト云フコトガ定メテアリマスカラ、政府委員ノ御言葉ノ中ニモアツタ通零時零分零秒ト云フヤウナコトモゴザイマセウ、併シ此時ト云フモノガアルタメニ、弊ノアルト云フコトヲ述ベタイ、時ト云フコトガナケレバ尙更今、伊藤サンノ御話ノ通、非常ナ弊害ガ起ラウト思フ、此時日ト云フモノカ、一向世間ニ漏レヌナレバ宜シイガ、漏レテ居ル事實ガ澤山アルト云フモノハ、即チ時ヲ爭フ——政府委員モ云ハレテ居ル零時零分零秒ト云フコトモ、時ヲ爭フコトニマデナッテ居ル、故ニ日ガ先ニ漏レテ居レバ、尙更此規定ニアル通、同一ナレバ出願人ハ協議ヲ整ヘヤウトスルニ、イタヅラヲスルモノガ續々アルト思フイマス

○坂本金彌君 其漏レテ居ル事實が假ニアリト定メ、其場合ニ又ヤハリ時間ト云フコトニ付イテハ、同シ奴ガ漏レル位ナレバ出ヤウト思フガドウデス

○金子元三郎君 ソレハ斯ウ云フコトヲ、私ハ聞イテ居リマス、今モ政府委員モ述ベラレマシタ通、零時零分零秒ト云フヤウニ、極端ナコトヲ書イテ、請取書ヲ出シタモノガアル、サウ云フ事實ノアルコトヲ、私ハ聞イテ居リマス、ソレハナゼカト云フト、假ニ十二月二十三日ナレバ、二十三日ノ午後十二時限デ、其日ハ終ハル、十二時ヲ打ッデシマヘハ、二十四日ニ這入ル、二十三日ト云フコトヲ聞イテ居ルカラ、二十四日ニナレバ願出スモノガアルト云フノデ、其差ヲ望シテ出願ヲシヤウトシテ居ル人ガ、先ニ廻ハッテ十二時ヲ打ツノヲ郵便局デ待ッテ居テ、零分即チマダ一分ニモナラヌトキニ、願書ヲ提出スルト云フヤウナコトヲ聞イテ居ル、ソレ程迄ノコトが行ハレテ居ルノハ、實際監督署カラ漏レテ居ルノダサウデアリマスガ、兎ニ角漏レテサウ云フ弊害が起ッテ、混雜が起ルコトガアル、ツレヲ唯日ダケニ限ッテ置キマシタナラバ、同ジ二十四日ニ願書ヲ出シテモ、朝出スノモ、晝ニ出スノモ、午後ニ出スノモ、同ジコトニナリマス、ソレデアルナレバ、協議ヲ遂ゲヤウト思ッテ、イロ／＼惡イ巧ミヲスルモノガアッテ、時ト云フコトガナケレバ、甚ダ惡策が行ハレルト思ヒマスカラ、時ト云フ字ヲ入レタト思フノデアリマス

○政府委員田中隆三君 チヨット監督署ト云フ名義ガ、澤山ニ出マシタカラ、御斷ヲ致シテ置キマスガ、監督署ガ其期日ヲ漏ラシタト云フコトハ、當局ニ於テ認メマセヌ暗々裡ニ例ヲ引カレマシタ、北海道ノ例ノ如キハ、内偵スルトコロデハ、其會社ノ雇員ガシタト云フコトデス、内偵デスカラ過チガアルカ知リマセヌ、其雇員ハ會社ノ出願ヲ縁ニシテ、竊ニ自分ガ願書ヲ出シマシタ、監督署ヲ惡ク云フモノハ、期限ノ切レタ日ヲ知ラシタカラ漏レタト云ヒマスガ、ドチラニシテモ、實例ハ會社ノ出シタ出願ガ、零時一秒ト云フ請取デ、横取ノ出願ガ零時零分零秒デアル、ドウシテモ此零秒ト云フ差デ、權利ヲ極メルト云フコトハ、却ッテ申請ノ事實ヲ誤ル基ニナルマイカト考ヘマシタ、此例ハ北海道バカリデアリマセヌ、他ニモアリマス故ニ、多少ノ弊害ハ免レマスマイケレドモ、寧ロ日ト云ツタ方が、公平ニ出來ハシナイカト云フ考デアリマス

○伊藤傳右衛門君 日ト云フト、ドウシテモ錯雜が起ラウト考ヘマスカラ、是ハ修正ノ方ニ贊成シテ御賞ヒシタイト思ヒマス

○藤金作君 御議論ガアリマスガ、現在日ト時トアッテ、多少弊害モアルカ知ラヌガ、ヤハリ二十四時間ノ餘地ヲ與ヘルト、與ヘナイノ云フ結果ニナリマスカラ、成タケ此ノ弊ヲ制シ得ル限ハ、之ヲ確實ニスルガ宜カラウト思ヒマス、現行法ノ如クスル、金子氏ノ修正ニ贊成シマス

○鹿島秀磨君 本員モ、利害ハ相均シイトシテ、日ト時トヲ入レルコトニシタ方が、現行法ノ通デ穩カデアルト思ヒマス、金子君ニ贊成シマス

○委員長堀田連太郎君 決ヲ採リマス、金子ノ修正「日」トアルノ「日」時トスルニ御贊成ノ方ハ、手ヲ御舉ゲ下サイ

舉手者 多數

○委員長堀田連太郎君 多數ト認メマス

○委員長堀田連太郎君 ソレデハ來ル二十六日ノ午前九時ヨリ開會スルコトニシテ、

今日ハ是デ散會致シマス
午後四時四十三分散會

明治三十七年十二月二十五日印刷

明治三十七年十二月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局